

令和5年度 第1回山形市介護人材確保推進協議会

議事次第

日時：令和5年9月28日（木）

午後1時30分から午後3時

場所：山形市役所 1001会議室

1. 開会

2. あいさつ

3. 報告

(1) 介護人材確保に関する調査結果 資料1

(2) 令和5年度の実施状況 資料2、参考資料2-1、2、3

4. 協議

(1) 令和6年度の実施（案）、及び、山形市高齢者保健福祉計画 施策の展開（案）

資料3、参考資料3-1、2

5. 各団体・機関からの情報提供 委員提出資料

6. その他

7. 閉会

<資料>

資料1	介護人材確保に関する調査結果
資料2	令和5年度の実施状況
参考資料2-1	KAiGOのおしごとひろばニュースレター
参考資料2-2	「介護の職場」魅力・活力くるりんプロジェクトコミュニティ
参考資料2-3	外国人向け防災体験
資料3	令和6年度の実施（案）
参考資料3-1	介護現場の革新に向けた総合的な実施（令和3年度～令和7年度）
参考資料3-2	山形市高齢者保健福祉計画（第9期介護保険事業計画）施策展開（案）
委員提出資料1	山形市介護保険事業所連絡会代表者会
委員提出資料2	訪問看護ステーションやまがた
委員提出資料3	学校法人富澤学園 東北文教大学短期大学部 現代福祉学科
委員提出資料4	山形労働局 職業安定部 職業安定課
委員提出資料5	山形公共職業安定所（ハローワーク山形）
委員提出資料6	山形県 健康福祉部 高齢者支援課
委員提出資料7	公益財団法人 介護労働安定センター山形支部
委員提出資料8	社会福祉法人 山形県社会福祉協議会
当日提出資料	公益社団法人山形市シルバー人材センター
当日提出資料	学校法人大原学園 山形校（資料配布のみ）

介護サービス等事業者 介護人材確保に関する調査結果 (速報値)

山形市福祉推進部長寿支援課
令和5年9月

目次

I. 調査の概要と回収結果について	3
II. 調査結果について	
1. 法人の種類について	4
2. 人材確保対策及び職員について	
(1)離職防止や人材確保ために取り組んでいる対策について.....	5
(2)(1)で「7.介護ロボットやICT等の活用」と回答しなかった理由について.....	6
(3)職員の年齢構成について.....	7
(4)介護サービス種別ごとの職員の採用・離職について.....	8
(5)職種ごとの採用・離職の状況について.....	9
(6)(5)の職種ごとの採用者の入職ルートについて	10
(7)職種ごとの過不足状況について	11
(8)不足している理由と人手不足を感じる業種について	12
(9)職員の労働時間について	13
(10)人材確保の取り組みについて.....	14
(11)ターゲット別の受け入れ人数について.....	15
(12)外国人人材確保の取り組みへの不安や課題について.....	16
(13)外国人人材確保に取り組む予定はない理由について.....	17
(14)カスタマーハラスメント対策・防止のために、マニュアルを作成しているかについて.....	18
(15)カスタマーハラスメント対策・防止のマニュアルを作成していない理由について.....	19
(16)カスタマーハラスメント対策のための自治体の支援として必要な取組について.....	20
(17)介護報酬改定による介護職員等ベースアップ等支援加算への対応状況について.....	21

I. 調査の概要と回収結果について

(1) 調査目的

第9期介護保険事業計画（令和6年度～令和8年度）における取組をより効果的に行っていただけるよう、介護人材確保の状況等を把握し、今後の取組に役立てられる資料とする。

(2) 調査対象者

介護保険サービス事業者 159法人（市内561事業所）

(3) 調査の期間

令和5年3月下旬～令和5年4月14日（金）まで

(4) 回収結果

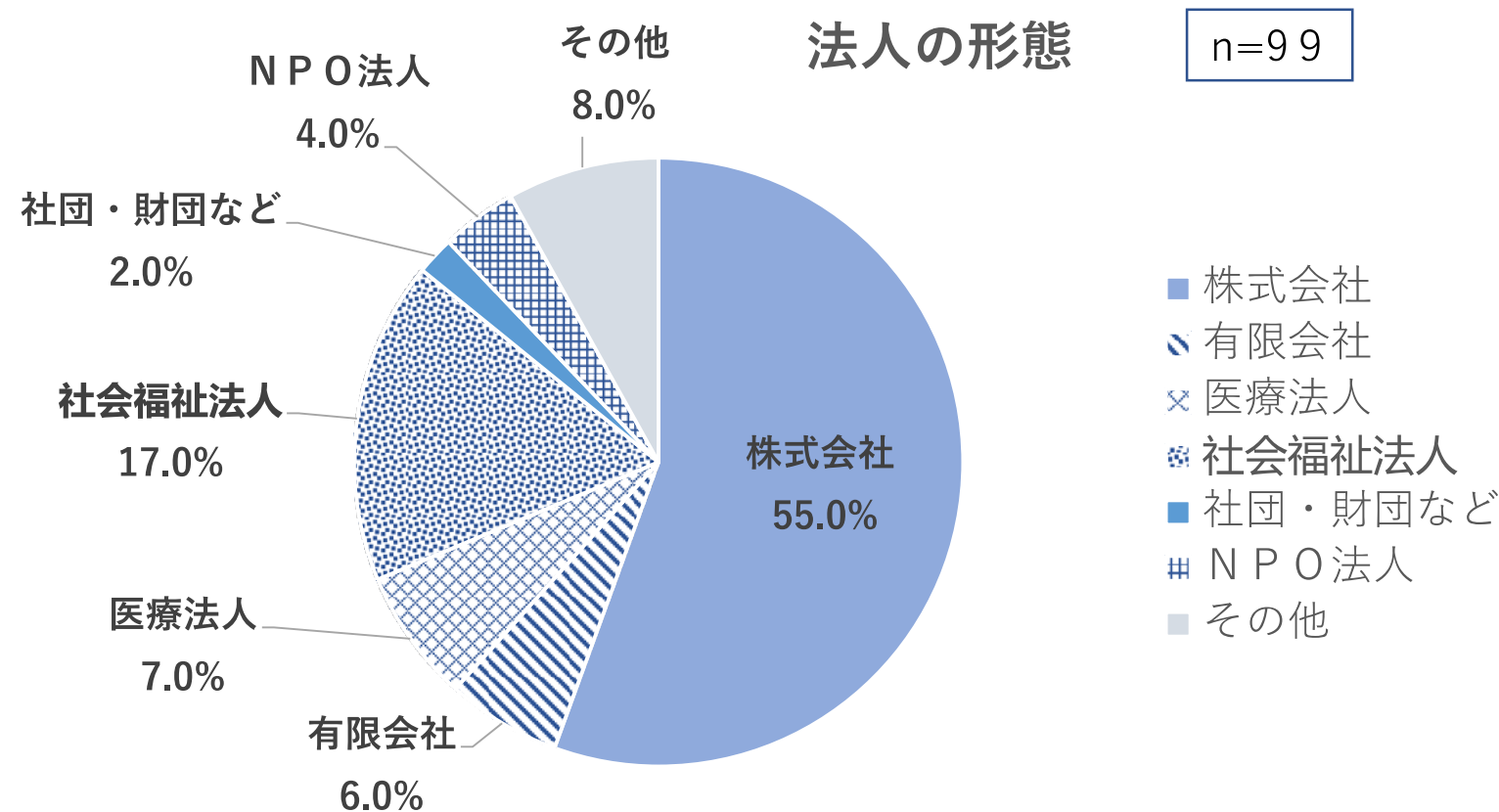
有効回答数 100法人（有効回答率 62.9%）

II. 調査の結果について

1 法人の種類について

(問1)

「株式会社」(55.0%)が最も多く、次いで「社会福祉法人」(17.0%)、「その他」(8.0%)となっています。



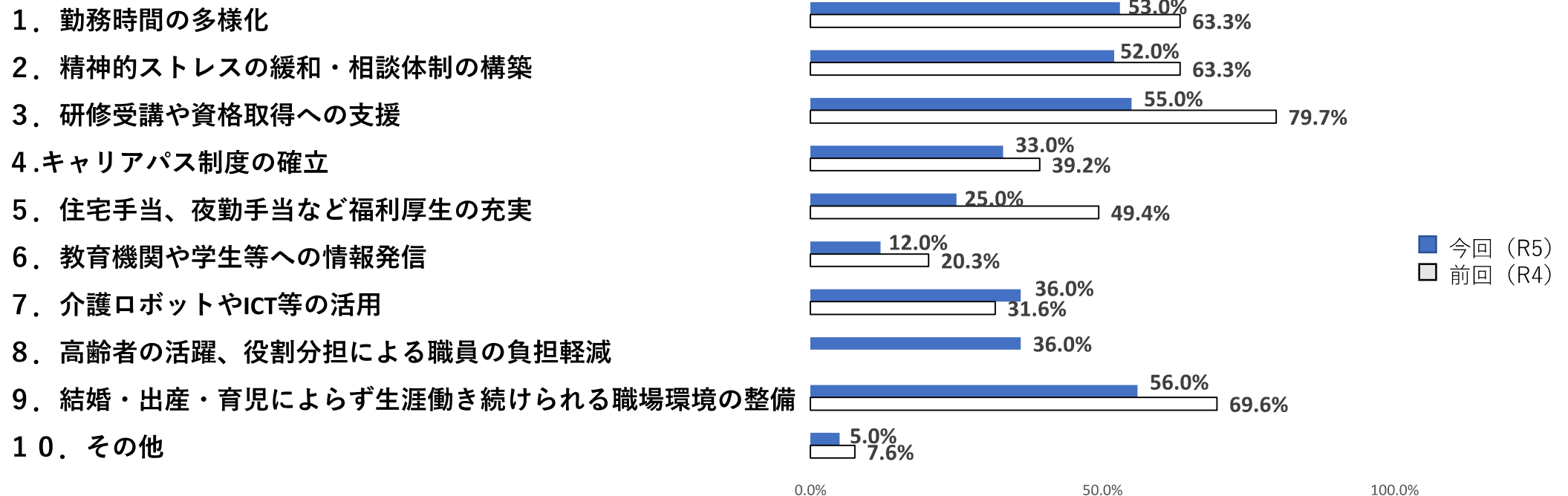
※その他

・合同会社 ・協同組合 ・生協法人 ・農業協同組合 等

2 人材確保対策及び職員について

(1) 離職防止や人材確保のために取り組んでいる対策について 問3 (7)

「結婚・出産・育児によらず生涯働き続けられる職場環境の整備」(56.0%)が最も多く、次いで「研修受講や資格取得への支援」(55.0%)、「勤務時間の多様化」(53.0%)、「精神的ストレスの緩和・相談体制の構築」(52.0%)となっています。

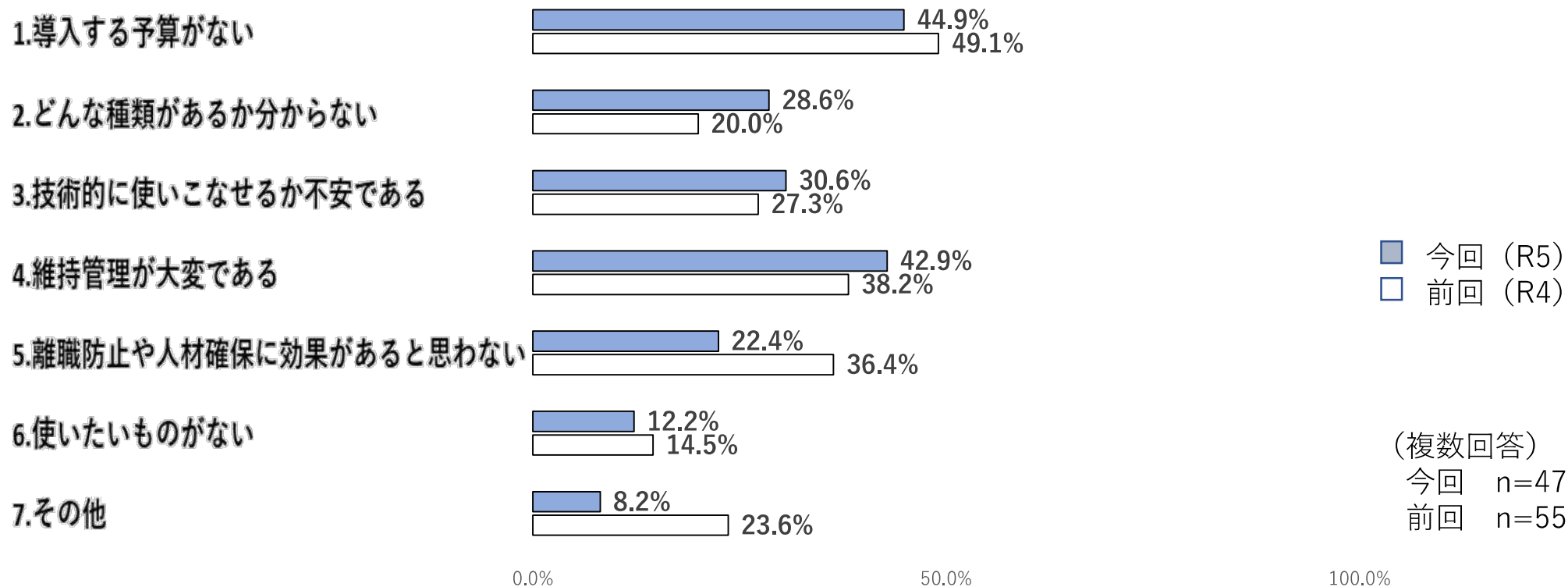


※その他

・仕事に魅力を感じ働けるようにしていく・特に対策はしていない・有給取得推進・面談やアンケートによる職員の声の吸い上げ

(2) (1) で「7 介護ロボットやICT等の活用」と回答しなかった理由について 問3 (6)

「導入する予算がない」(44.9%)が最も多く、次いで「維持管理が大変である」(42.9%)、「技術的に使いこなせるか不安である」(30.6%)となっています。

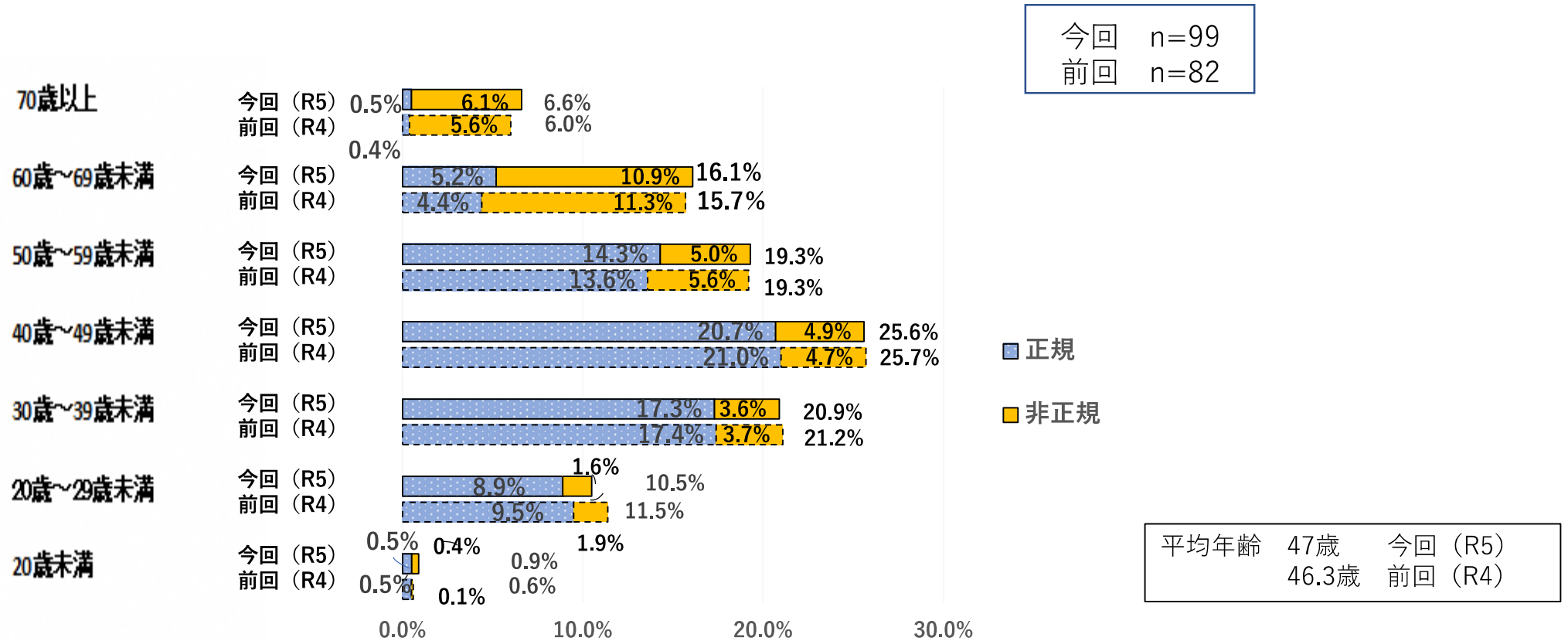


※その他

- ・必要性を感じていない
- ・本社決定のため今後の動きがわからない
- ・特に予定がない
- ・導入するほどの規模ではない

(3) 職員の年齢構成について 問2 (1)

令和4年12月31日時点の職員の年齢構成は、正規雇用と非正規雇用を合わせて最も割合が高かったのは「40～49歳未満」(25.6%)、次いで「30～39歳未満」(20.9%)、「50～59歳未満」(19.3%)となっています。また、平均年齢は47歳となっています。



(注1) 介護サービス等に従事する職員とは：職種・役職等に関係なく、介護サービス等に従事する職員とします。管理者、介護事務職、調理員、栄養士、送迎運転手等を含みます。ただし、派遣労働者、委託従事者は含みません。

(注2) 正規雇用職員：本調査では労働時間数にかかわらず雇用期間の定めのない職員（有期契約より無期労働契約に転換した職員も含む）

とします。

(注3) 非正規雇用職員：本調査では正規雇用職員以外の職員（契約職員、嘱託職員、パートタイム労働者等）とします。

(4) 介護サービス種別ごとの職員の採用・離職について 問2(2)

採用率は、全体で11.9%であり、サービス種別では、最も高いのは「居宅サービス」で13.1%、最も低いのは「総合事業」で7.5%となっています。

離職率は、全体で12.7%であり、サービス種別では、最も高いのは「居宅サービス」「地域密着型サービス」で13.7%、最も低いのは「総合事業」で9.3%となっています。

職員増加率は、全体でマイナス0.7%であり、サービス種別では、最も高いのは「その他」で1.5%、最も低いのは「地域密着型サービス」でマイナス2.6%となっています。

n=98

	回答数	事業所数	職員数				採用者数				離職者数								職員増加率	前回職員増加率				
			正規	非正規	合計		正規	非正規	合計		離職者総数				勤続年数3年未満						勤続年数3年以上			
					人数	採用率			人数	採用率	正規	非正規	合計		正規	非正規	小計				正規	非正規	小計	
			人数	離職率			人数	離職率					人数	離職率			人数	離職率						
居宅サービス	125	162	1188	683	1871	63.5%	129	118	247	13.1%	152	106	258	13.7%	73	54	127	6.7%	79	52	131	7.0%	-0.6%	-0.7%
地域密着型サービス	57	77	796	391	1187	67.1%	71	64	135	11.1%	118	49	167	13.7%	50	36	86	7.1%	68	13	81	6.6%	-2.6%	0.6%
施設サービス	15	18	789	294	1083	72.9%	58	64	122	11.3%	75	39	114	10.6%	31	26	57	5.3%	44	13	57	5.3%	0.7%	1.4%
総合事業	20	24	77	81	158	48.7%	3	9	12	7.5%	7	8	15	9.3%	5	4	9	5.6%	2	4	6	3.7%	-1.9%	-5.8%
その他	53	70	258	89	347	74.4%	27	16	43	12.6%	24	14	38	11.1%	11	8	19	5.6%	13	6	19	5.6%	1.5%	-0.6%
計	270	351	3108	1538	4646	66.9%	288	271	559	11.9%	376	216	592	12.7%	170	128	298	6.4%	206	88	294	6.3%	-0.7%	0.0%

※回答数について、一つの法人で複数のサービス種別に回答あった場合は種別ごとに1としてカウント

※採用率・離職率・増加率の計算式は以下の通り

採用率 = 採用者数合計 / (職員数合計 - 採用者数合計 + 離職者数合計)

離職率 = 離職者数合計 / (職員数合計 - 採用者数合計 + 離職者数合計)、勤続年数3年未満及び以上の離職率の分子はそれぞれの小計

増加率 = (採用者数合計 - 離職者数合計) / (職員数合計 - 採用者数合計 + 離職者数合計)

(5) 職種ごとの採用・離職の状況について 問2(3)

採用率は、全体で12.4%、職種別では、最も高いのは「看護職員」で20.0%、最も低いのは「生活相談員」で4.8%となっています。

離職率は、全体で13.6%、職種別では、最も高いのは「訪問介護員」で17.9%、最も低いのは「サービス提供者」で4.9%となっています。

職員増加率は、全体でマイナス1.2%、職種別では、最も高いのは「看護職員」で5.6%、最も低いのは「生活相談員」でマイナス3.0%となっています。

n=96

職種	回答数	職員数				採用者数				離職者数								職員増加率	前回職員増加率				
		正規	非正規	合計		正規	非正規	合計		離職者総数				勤続年数3年未満						勤続年数3年以上			
				人数	正規割合			人数	採用率	正規	非正規	合計		正規	非正規	小計				正規	非正規	小計	
		人数	離職率			人数	離職率					人数	離職率			人数	離職率						
訪問介護員	24	114	147	261	43.7%	21	20	41	15.3%	26	22	48	17.9%	18	11	29	10.8%	8	11	19	7.1%	-2.6%	-2.3%
介護職員	65	1644	711	2355	69.8%	141	134	275	11.4%	205	132	337	13.9%	86	81	167	6.9%	119	51	170	7.0%	-2.6%	-1.1%
サービス提供責任者	31	75	8	83	90.4%	5	0	5	6.1%	4	0	4	4.9%	3	0	3	3.7%	1	0	1	1.2%	12.0%	3.3%
看護職員	73	309	220	529	58.4%	54	46	100	20.0%	50	22	72	14.4%	26	13	39	7.8%	24	9	33	6.6%	5.6%	2.5%
生活相談員	48	155	8	163	95.1%	6	2	8	4.8%	13	0	13	7.7%	6	0	6	3.6%	7	0	7	4.2%	-3.0%	1.3%
PT・OT・ST等	46	153	26	179	85.5%	18	2	20	11.1%	16	5	21	11.7%	11	3	14	7.8%	5	2	7	3.9%	-0.6%	11.2%
介護支援専門員	52	174	28	202	86.1%	19	6	25	12.5%	20	3	23	11.5%	9	1	10	5.0%	11	2	13	6.5%	1.0%	-3.4%
計	339	2624	1148	3772	69.6%	264	210	474	12.4%	334	184	518	13.6%	159	109	268	7.0%	175	75	250	6.6%	-1.2%	2.3%

(6) (5) の職種ごとの採用者の入職ルートについて 問2 (5)

職種ごとの採用者の入職ルートについて、最も多いのは「ハローワーク」で257人となっています。

職種		① 新卒者 (福祉系)	② 新卒者 (非福祉系)	③ ハローワーク	④ 民間職業紹介事業者	⑤ 福祉人材センター	⑥ 知人からの紹介	⑦ その他	合計
A	訪問介護員	0	2	21	3	0	22	4	52
B	サービス提供責任者	0	1	2	1	0	1	0	5
C	介護職員	20	18	129	65	2	34	33	301
D	看護職員	0	1	39	15	1	26	12	94
E	生活相談員	0	0	6	0	0	0	1	7
F	PT・OT・ST等の機能訓練指導員	2	0	5	2	0	8	6	23
G	介護支援専門員	0	1	7	7	0	7	3	25
H	栄養士又は管理栄養士	0	1	1	0	0	0	0	2
I	その他(事務職等)	1	2	47	8	1	12	10	81
合計		23	26	257	101	4	110	69	590

※その他

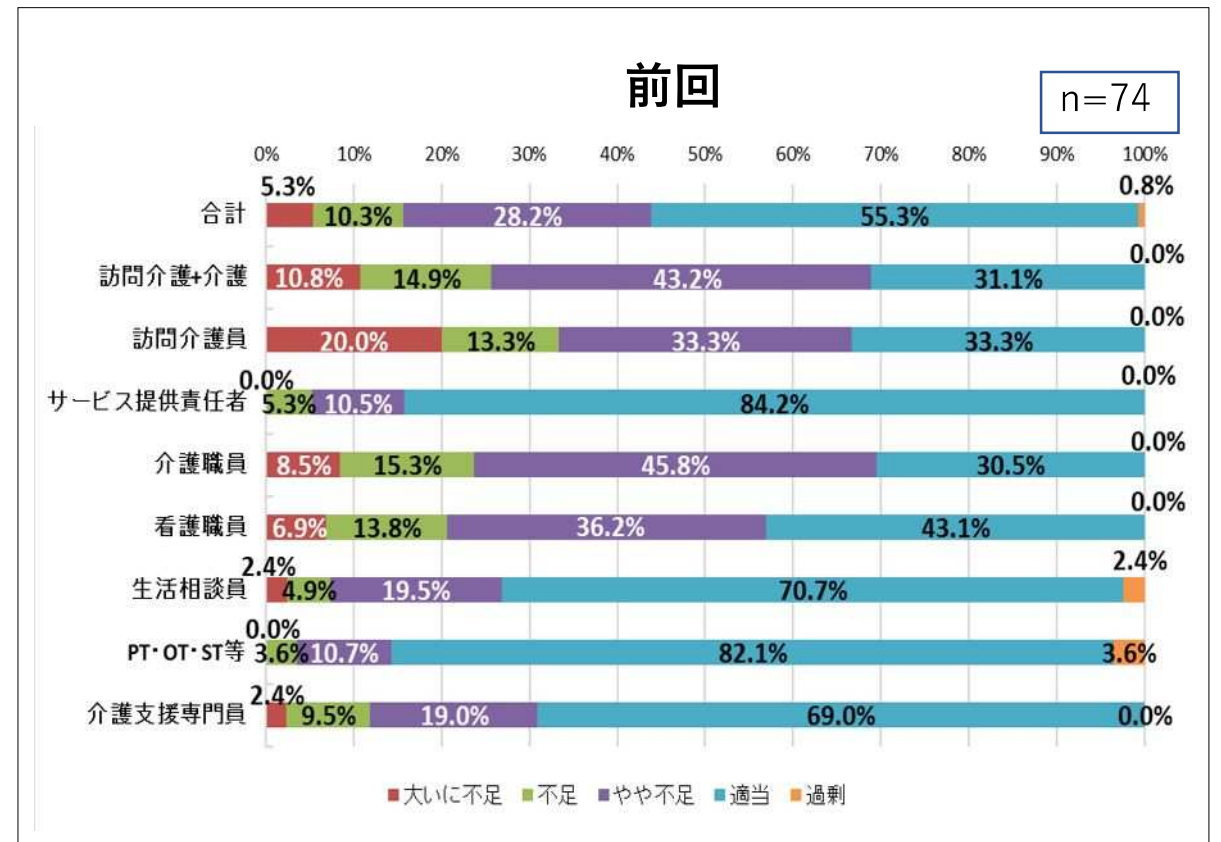
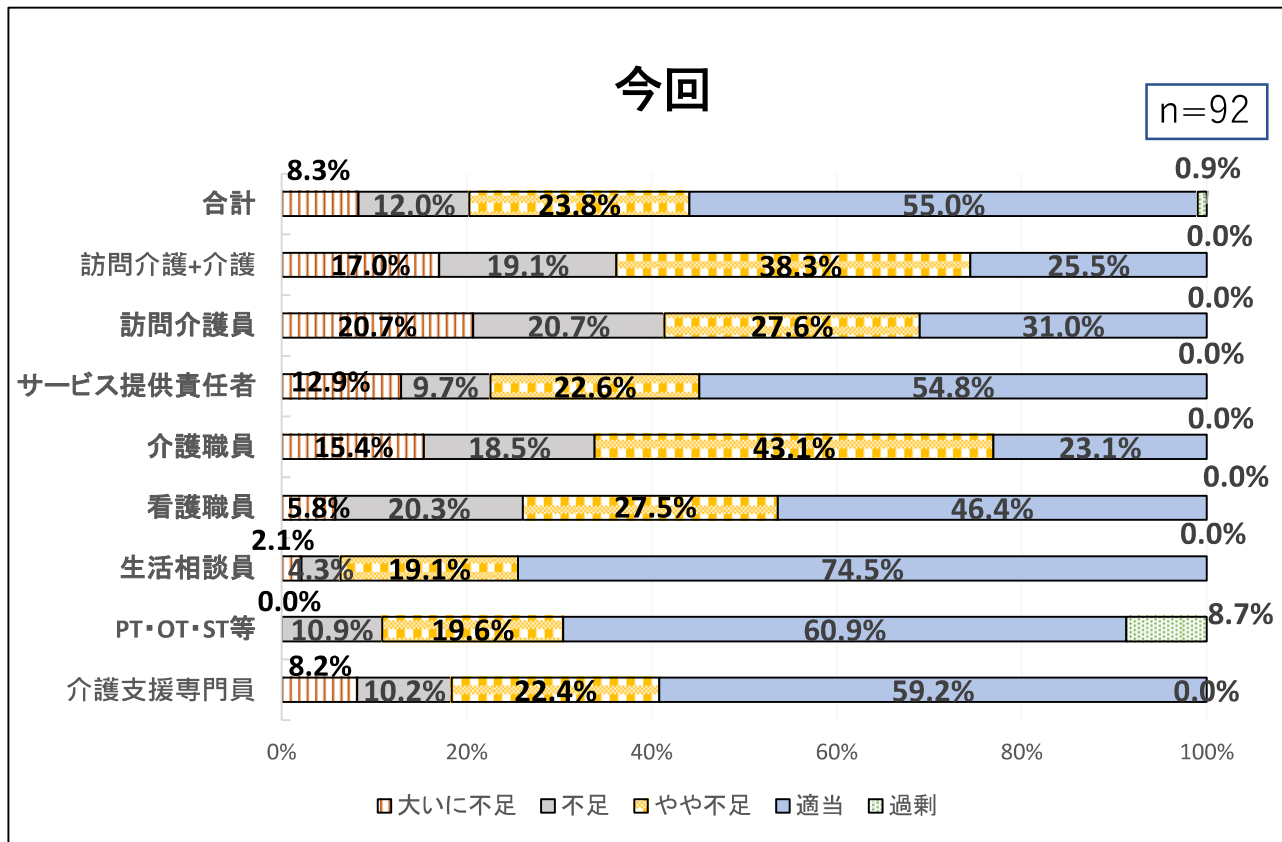
・求人サイト、特定技能外国人材紹介会社、山形県看護協会ナースセンター、法人ホームページ、受講生WEB、自己就職、再雇用、公募、EPA 等

(7) 職種ごとの過不足状況について 問2(6)

全体では、「大いに不足」「不足」「やや不足」を合わせ44.1%の法人が不足感を感じると回答しており、前回調査から0.3ポイント上昇しています。

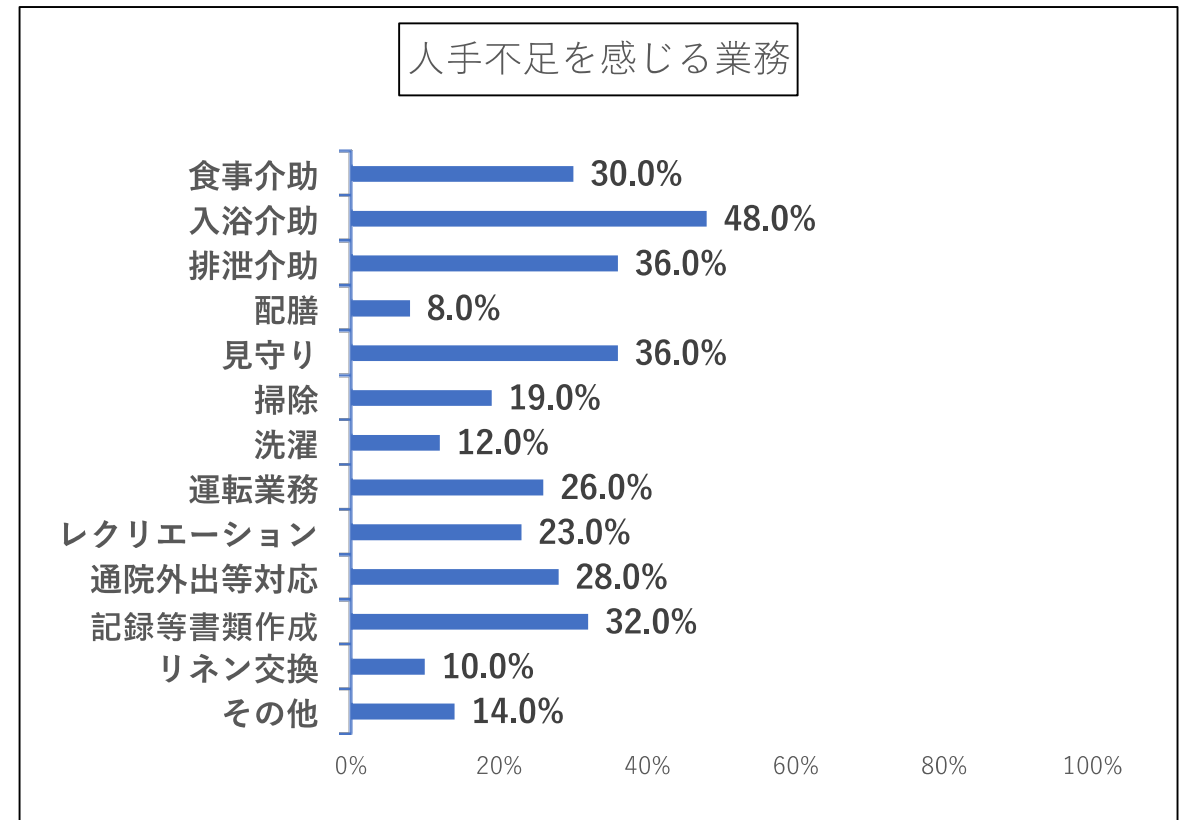
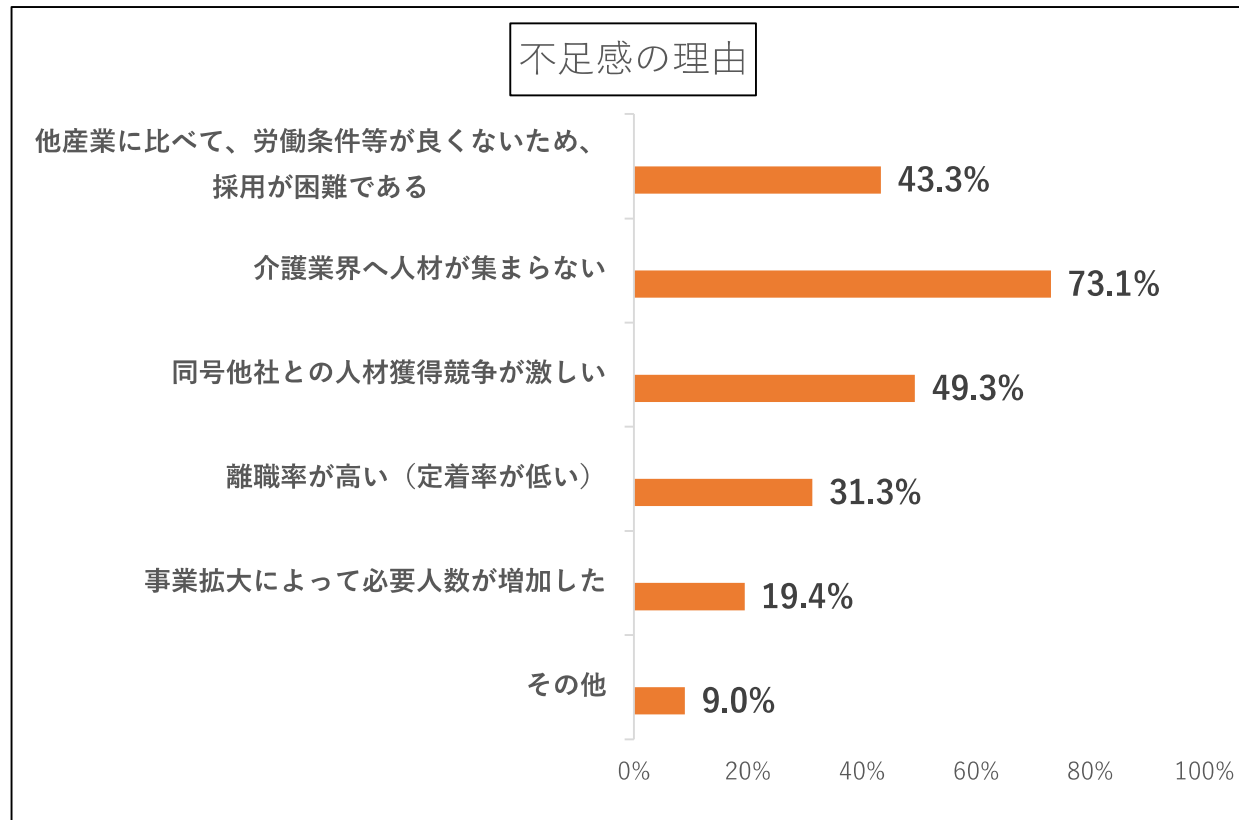
職種別では、介護職員に関する不足感が最も高く77.0%となっており、前回調査から、7.4ポイント上昇しています。

職種ごとの過不足状況



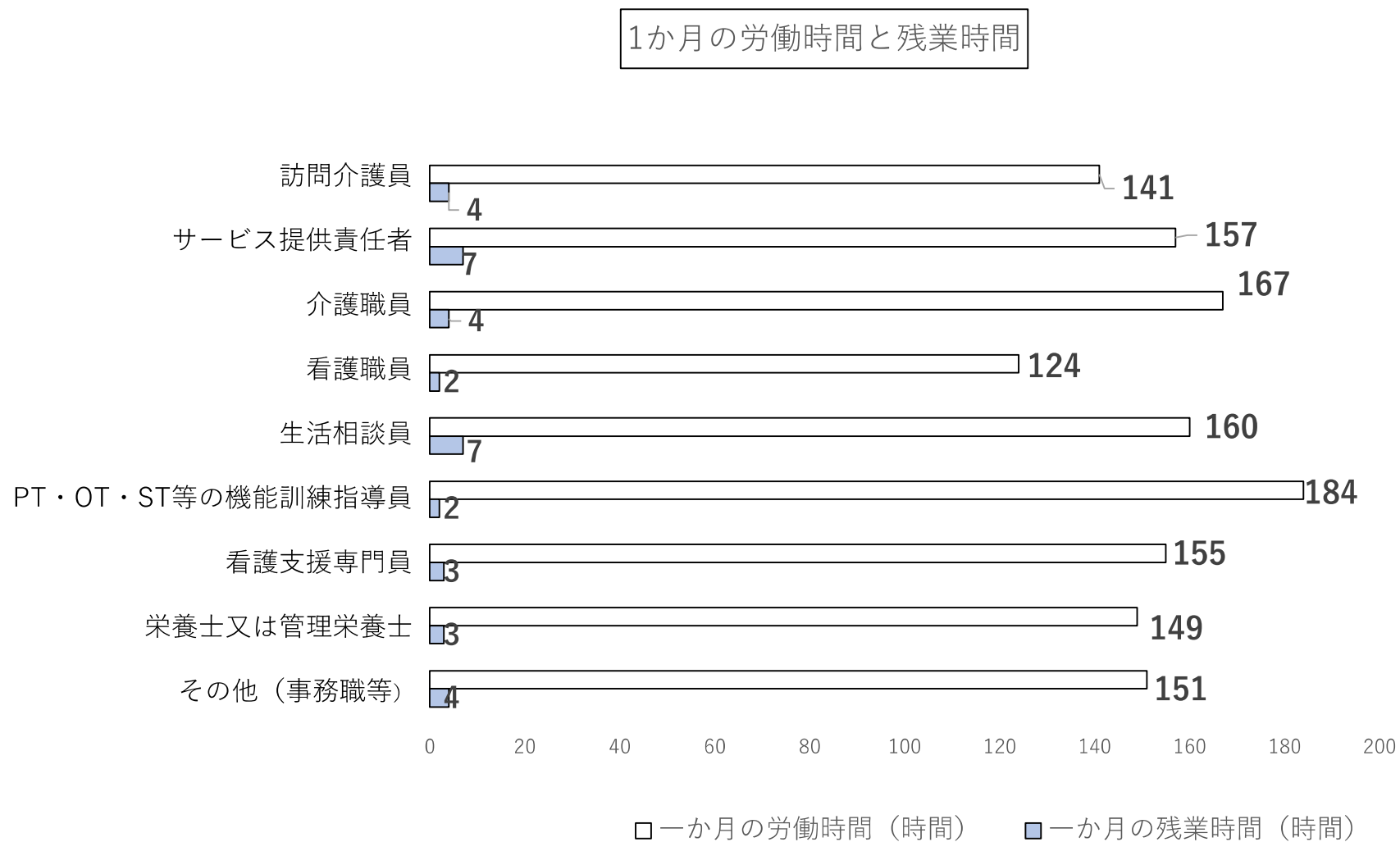
(8) 不足している理由と人手不足を感じる業種について 問2 (7) (8)

不足感を感じる旨の回答をした理由について、「介護業界へ人材が集まらない」が最も多く73.1%、次いで「同業他社との人材獲得競争が激しい」が49.3%となっています。業務を行っている中で人手不足を感じる業務として、最も多いのは「入浴介助」で48.0%、次いで「排泄介助」「見守り」の36.0%となっています。



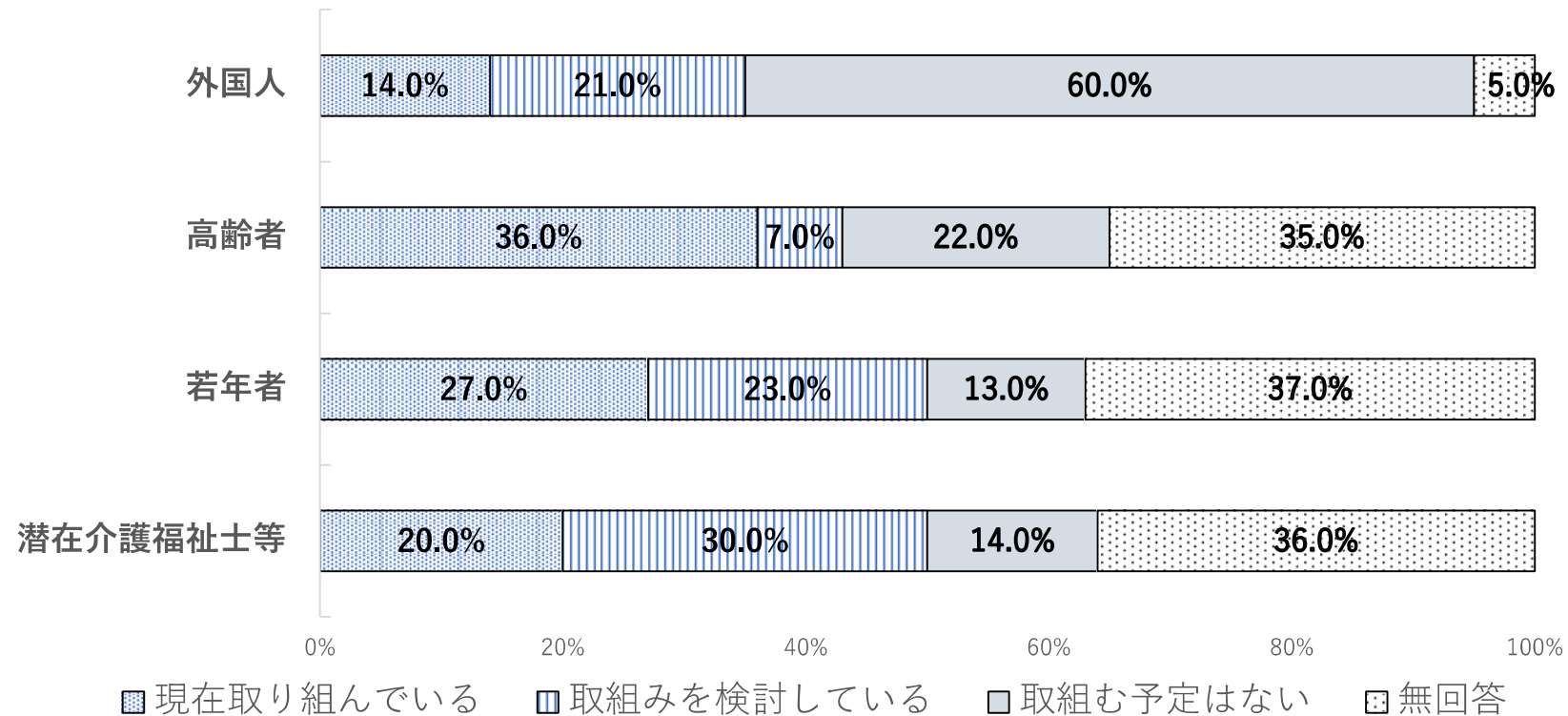
(9) 職員の労働時間について 問2(4)

全体の職員（正規・非正規含む）労働時間の平均は154時間、残業時間は4時間となっています。



(10) 人材確保の取り組みについて 問3(1)

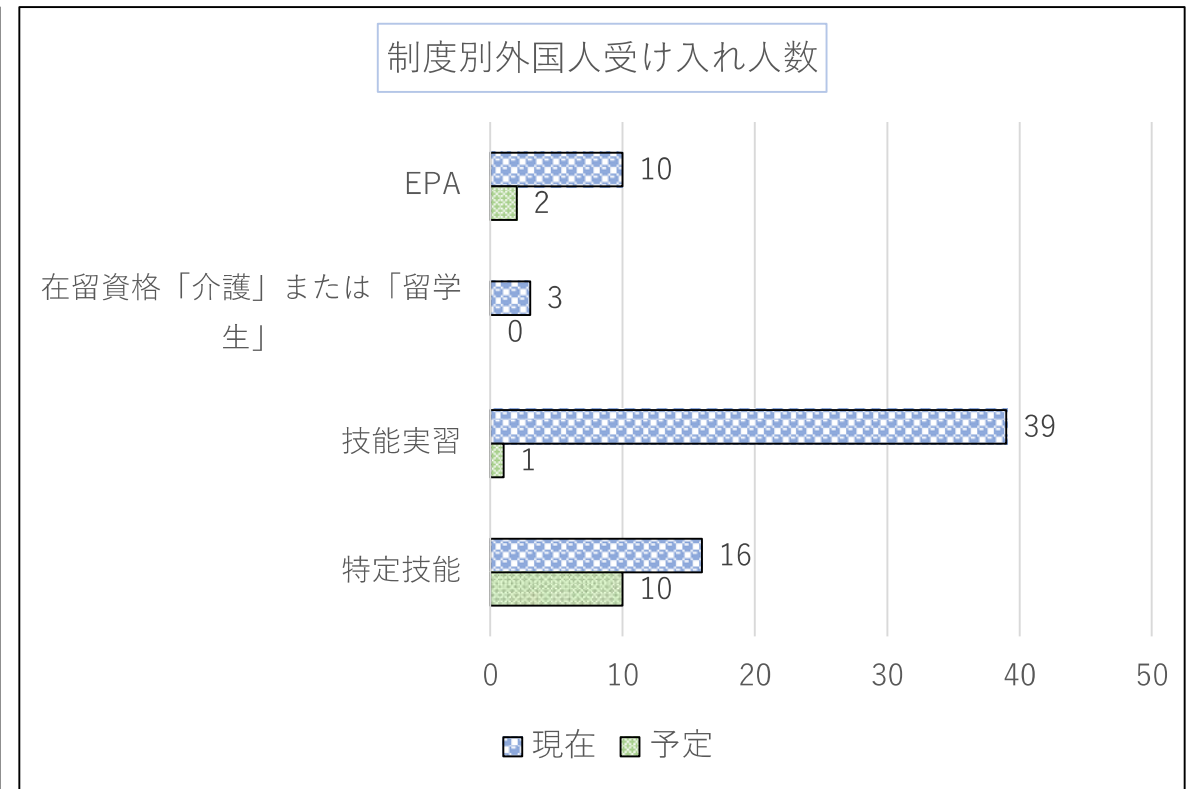
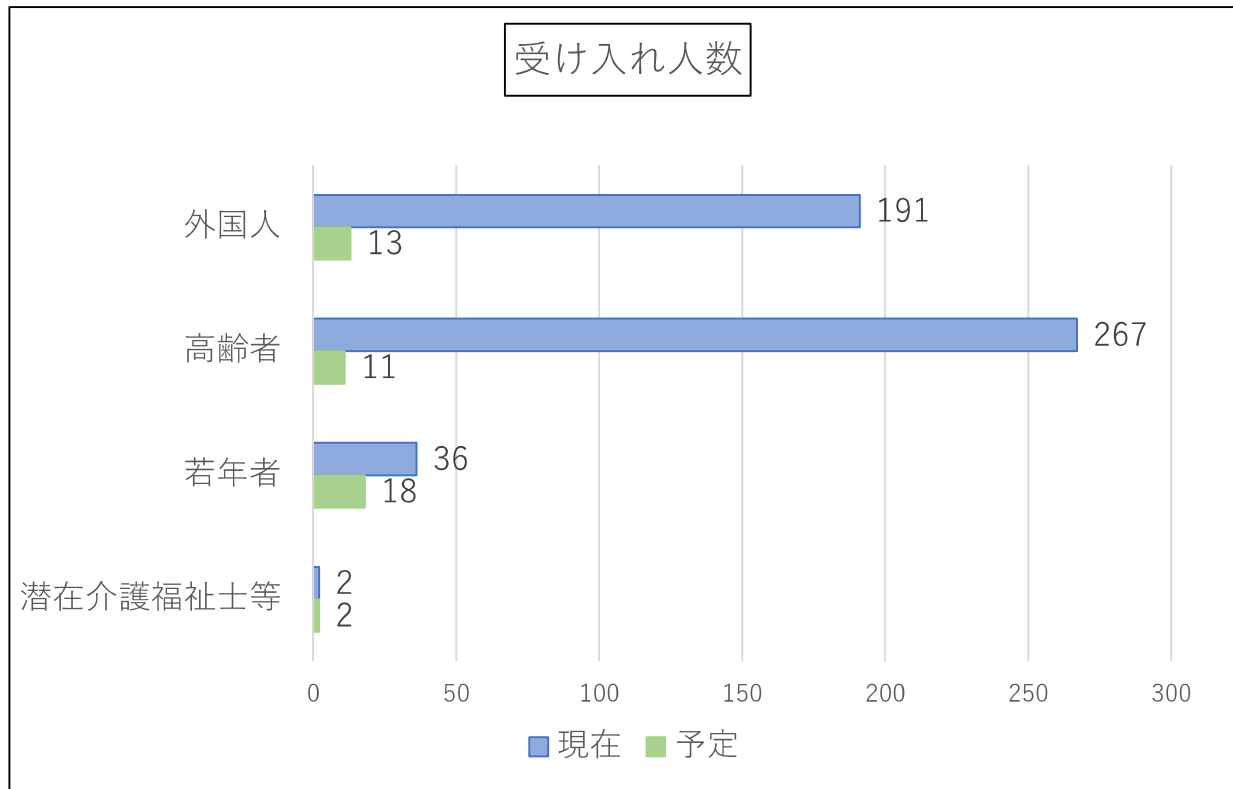
ターゲットごとに人材確保のための取り組みを行っているかどうかについて、「現在取り組んでいる」との回答が最も多かったのは「高齢者」(36.0%)、「取り組みを検討している」が最も多かったのは「介護福祉士」(30.0%)となっており、「取り組む予定はない」が最も多かったのは「外国人」(60.0%)となっています。



(11) ターゲット別の受け入れ人数について 問3(2)

人材確保に「現在取り組んでいる」と回答したターゲットごとの受け入れ人数について、「現在」では「高齢者」(267人)、「予定」では「若年者」(18人)と最も多くなっています。

「外国人」について制度別にみると、「現在」では「技能実習」(39人)、「予定」では「特定技能」(10人)と最も多くなっています。



(12) 外国人人材確保の取り組みへの不安や課題について 問3 (3)

「外国人」について「取り組みを検討している」ことにあたっての不安や課題については、以下のような回答がありました。

- ・山形での生活環境に馴染んでくれるかが不安。外国人労働者に対する研修体制の確立が必要だと思う
- ・経験がなく、どのような形で働いてもらえるのか予想できない
- ・コミュニケーション面、生活習慣の違いによるトラブル、無断欠勤、失踪、犯罪行為等に苦慮していると他の法人より聞いているため
- ・語学力の水準（読み・書き・話）が鮮明か。利用者・職員に伝わるか否か
- ・法人全体で取り組む必要があるため、人材確保の方法や手段等の統一を図る必要がある
- ・社宅や、手続きなど多面に渡り負担がありすぎる為、検討しているとは言っても現実的ではない状況
- ・法人内の有料老人ホーム（山形市外）では外国人を受け入れ始めているが、訪問入浴事業（山形市内）では受け入れたことがないため
- ・文書の記録、普段の生活への支援
- ・以前2名採用したが、高齢者にとっては、中国や韓国に対する差別があった。仕事ぶりもマイペースが目立ち、指導してもなかなか聞かず、反発することが多かった。
- ・外国人を現在の制度で雇用することは、技能実習制度でいえば、制度の主旨に反し安い労働力の確保が主旨となってる現実を考えるべき。また特定技能については特に優れている技能を有するのであれば外国人を雇用することに意味はあるが、そうでない場合は日本人の労働者の方が基礎的な言語や風習を理解している分、人的コストは安価であると考え。そもそも、安い労働力で介護を行う姿勢こそが問題。

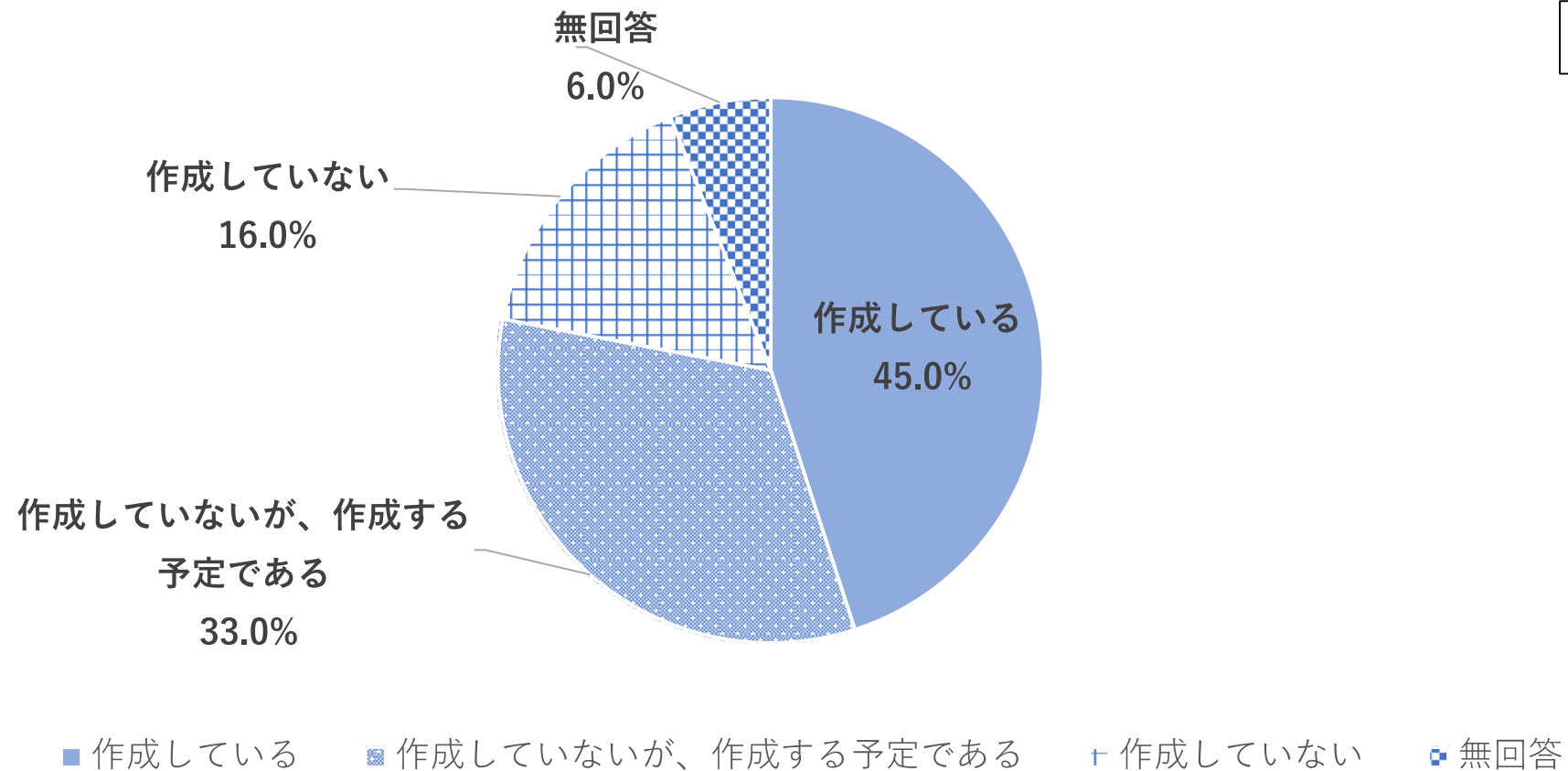
(13) 外国人人材確保に取り組む予定はない理由について 問3(4)

「外国人」について「取り組む予定がない」理由については、以下のような回答がありました。

- ・言葉や文化の違いでうまくコミュニケーションが取れるか不安
- ・人員充足しているため
- ・外国人受け入れの体制が整っていない
- ・指導する介護職員を確保できない
- ・外国人の応募者がいない
- ・新規での募集ではなく、内部での異動を行っているため
- ・予算がないため
- ・職員充足中のため。外国人確保の前に高校生の新卒者を考えている
- ・訪問介護のため（自家用車の運転や文化の違い等）
- ・どのように募集すればよいかわからない為
- ・事業所として対応が現状厳しい状況、かつ日中帯が主な勤務で介護職員に関して送迎もあるので考えると、取り組みとしては優先順位が低くなる
 - ・採用までのプロセスがわからないのと、私生活などどこまで援助しなければいけないかを考えると現実厳しい（アパートを借りたり、契約を行ったりする等）
 - ・事業所として新しく、そこまで取り組む余裕がないため
 - ・採用費用及び雇用を維持し続けるための費用が高い。記録や書類作成にあたり漢字の使用がどこまでできるのか
 - ・なぜ外国人に限定するのか。日本人でも働きたくなる仕事にするのが前提ではないか

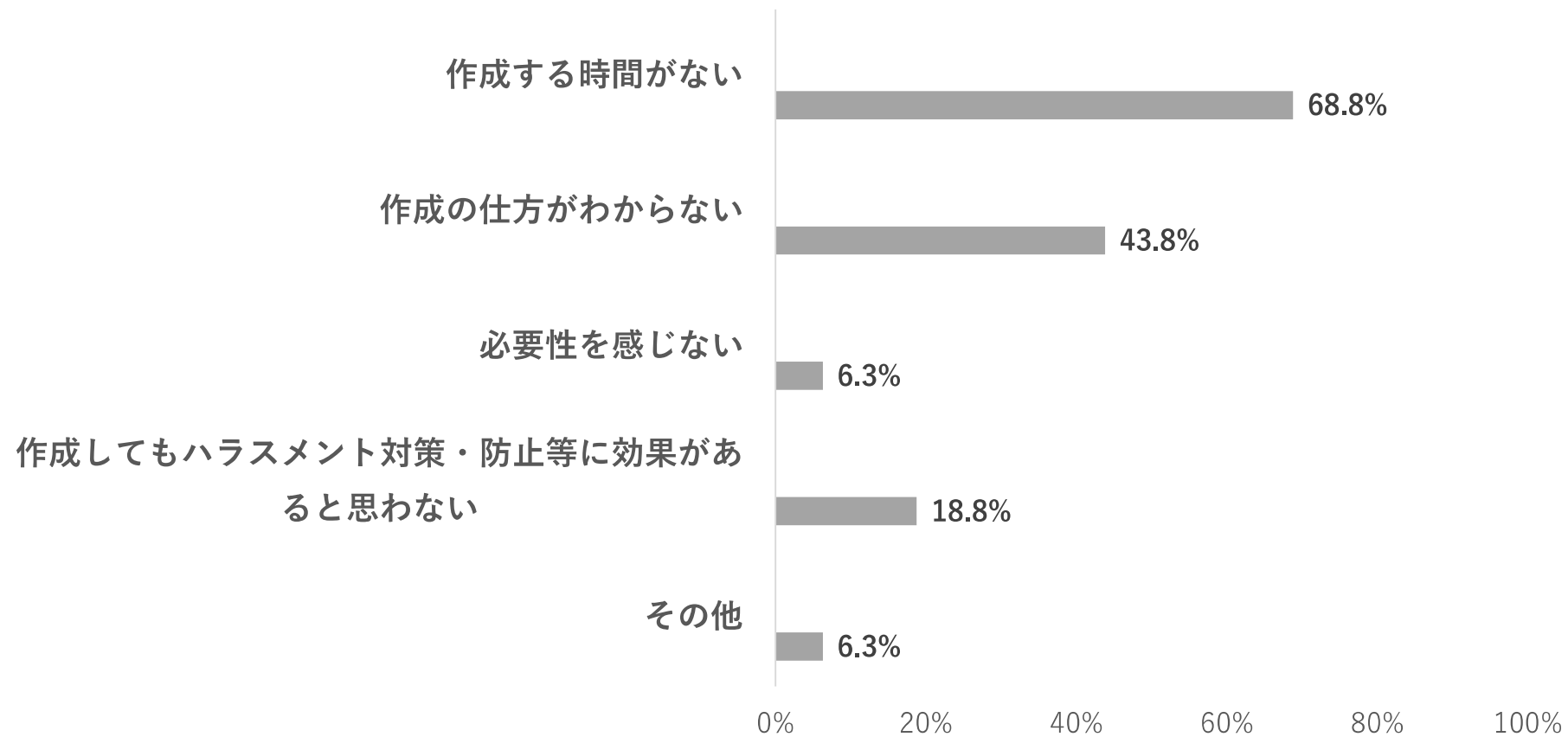
(14) カスタマーハラスメント対策・防止のために、マニュアルを作成しているかについて 問3 (8)

「作成している」(45.0%)で最も多く、次いで「作成していないが、作成する予定である」(33.0%)となっています。



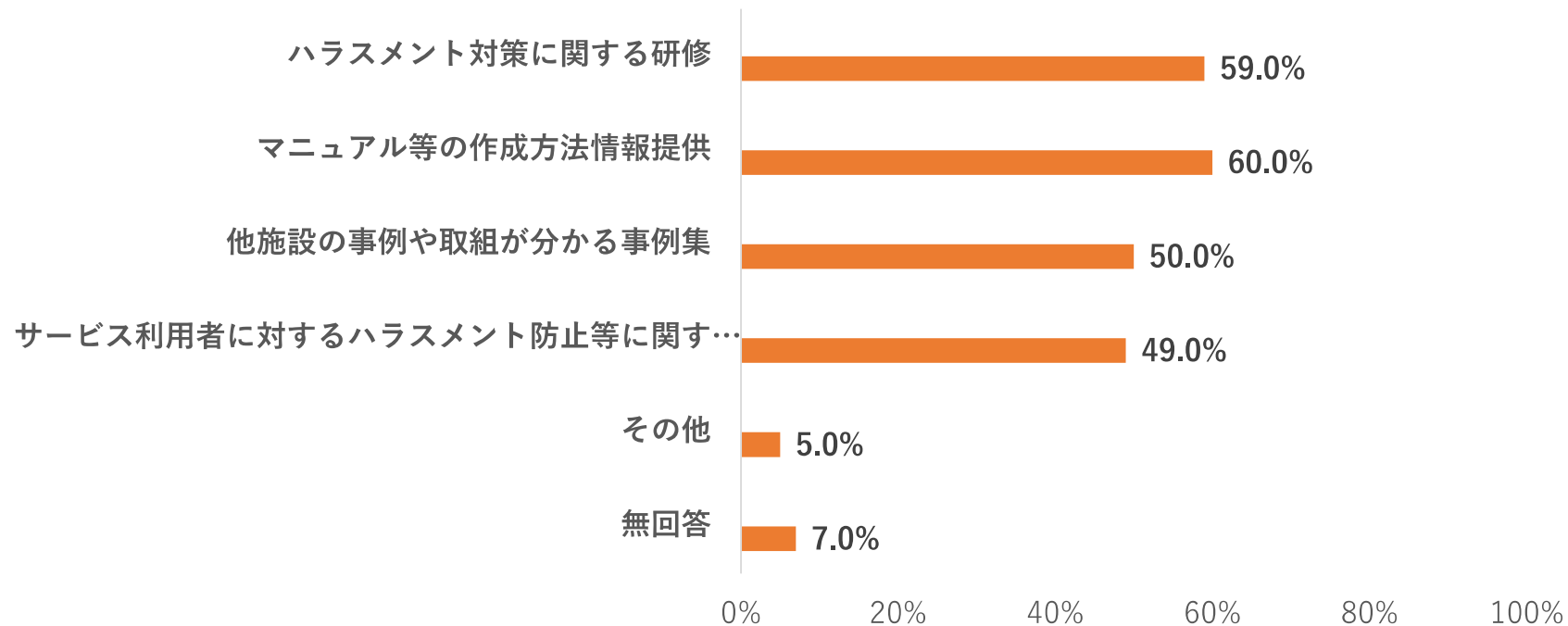
(15) カスタマーハラスメント対策・防止のマニュアルを作成していない理由について 問3 (9)

最も多かったのは「作成する時間がない」(68.8%)、次いで「作成の仕方がわからない」(43.8%)、「作成してもハラスメント対策・防止等に効果があると思わない」(18.8%)となっています。



(16) カスタマーハラスメント対策のための自治体の支援として必要な取組について 問3 (10)

「マニュアル等の作成方法の情報提供」(60.0%)が最も多く、次いで「ハラスメント対策に関する研修」(59.0%)、「他施設の事例や取組が分かる事例集」(50.0%)となっています。

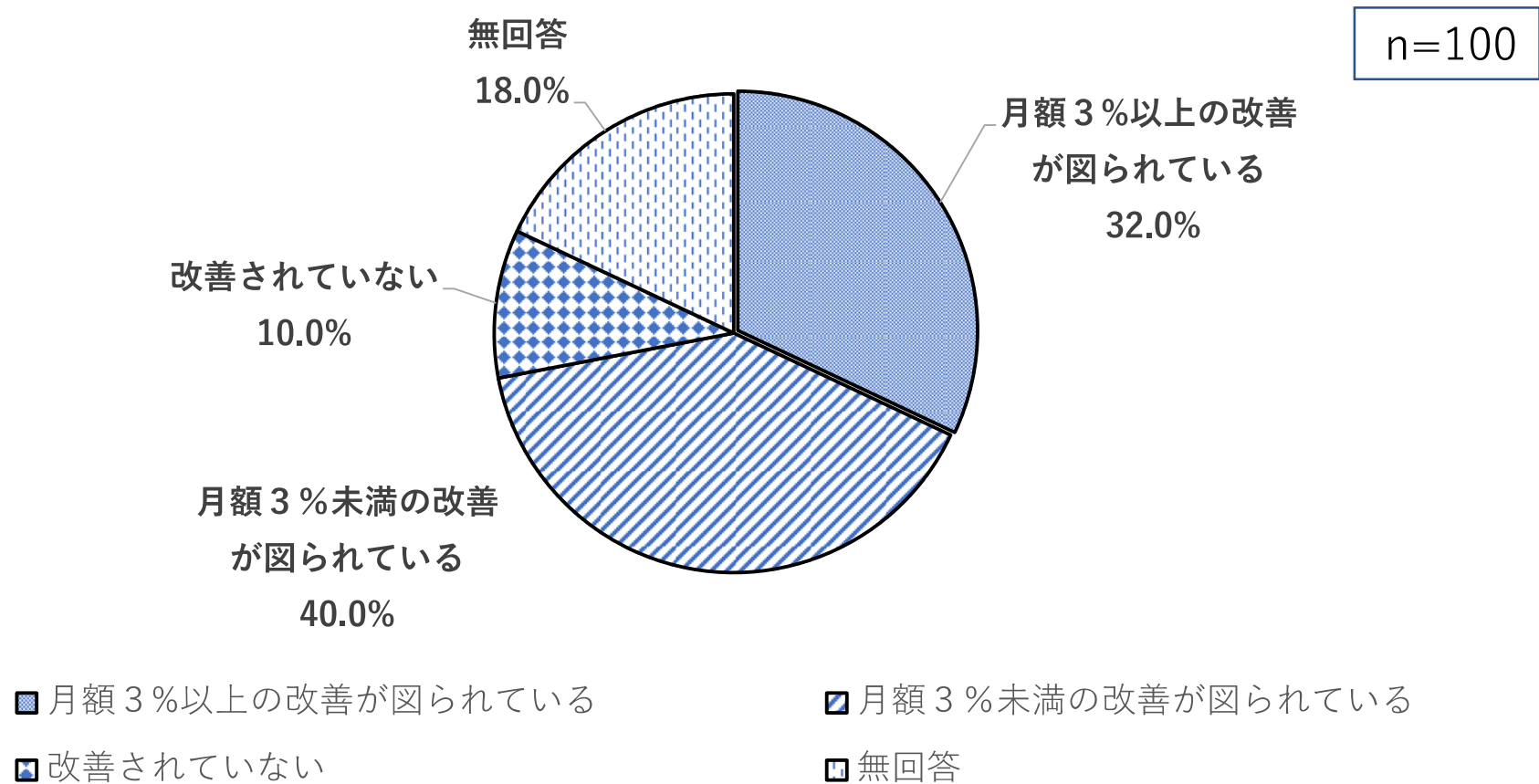


※その他

- ・利用者からのハラスメント対応
- ・魅力的な仕事、職場に対しての多様なサポート
- ・内容に応じた自治体の介入
- ・小さな事業所は時間が取れないので、作成するのにひな形などあれば助かる
- ・専門家による事業所への訪問相談

(17) 介護報酬改定による介護職員等ベースアップ等支援加算への対応状況について 問8(4)

「月額3%（9000円）未満の改善が図られている」（40.0%）が最も多く、次いで「月額3%（9000円）以上の改善が図られている」（32.0%）、「改善されていない」（10.0%）となっています。



令和5年度の取組状況

資料2

介護人材の確保につながる場の創出

項目	内容等	取組状況	目標・実績
① 介護の職業体験イベント	<p>中・高校生を中心に、介護に触れ合う機会を創出</p> <p>【実施済】</p> <p>介護サービス事業者団体、学校関係者等との連携</p> <p>■実施概要</p> <p>○目的</p> <p>将来、介護職員としての雇用につなげることを目指し、中・高校生を主な対象として、介護の仕事の模擬体験やKAiGO PRiDEによる魅力発信を通して、介護の仕事を正しく理解してもらう。</p> <p>○事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護の仕事体験 車椅子の移動介助、歩行介助体験など ・KAiGO PRiDE動画上映 ・介護職員ポートレート展示会 ・介護職養成校の紹介 ・就職相談 等 	<ul style="list-style-type: none"> ●開催日／会場 6月24日／霞城セントラルアトリウム ●参加者 324人(体験者22人) ●実施内容等 <ul style="list-style-type: none"> ・介護の仕事体験 車椅子移動 歩行介助の体験 ・介護職養成校の紹介 ・就業相談コーナーの設置 ・KAiGO PRiDE動画上映 ・介護職員ポートレート展示 ●課題等 学生の体験者数の増加 	<p>【目標】 参加者数 300人</p> <p>【実績】 324人</p>

「介護人材の確保・定着」の取組

項目	内容等	取組状況	目標・実績
① 介護の魅力発信	<p>KAiGO PRiDEの実施</p> <p>【実施済】</p> <p>【取組中】</p> <p>介護サービス事業者団体との連携</p> <p>■実施概要</p> <p>○目的</p> <p>クリエイティブの力で介護をブランディングする「KAiGO PRiDE」の取組を通し、TVやSNS等のメディアを活用して、広く介護の魅力を発信する。</p> <p>○取組内容(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山形市内の介護職員による動画制作、テレビCM放送、YouTube配信 ・学生による動画制作、YouTube配信 ・介護職員ポートレート展示会 	<ul style="list-style-type: none"> ●実施内容等 <ul style="list-style-type: none"> ・KAiGO PRiDEアンバサダーの周知 ・動画のテレビCM放送 ・動画のYouTube配信 ●参加者数 324人(KAiGOのおしごとひろば) 	
介護の魅力発信フェスティバルの開催	<p>介護サービス事業者団体との連携</p> <p>■実施概要</p> <p>○目的</p> <p>フェスティバルの開催を通して、介護職員、一般市民、学生等に広く介護の魅力を発信する。</p> <p>○取組内容(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会やプレゼン大会等を実施 ・他イベントとの合同開催も含めて検討 	<ul style="list-style-type: none"> ●実施内容等 KAiGO PRiDEイベントとの連携も含めて協議中 	<p>【目標】 参加者数 150人</p> <p>【実績】 324人 (KAiGOのおしごとひろば)</p>
介護魅力発信事業費補助(Yamagata KAiGO-LINK構築事業)	<p>教育機関・学生等との連携</p> <p>■実施概要</p> <p>○目的</p> <p>情報発信や介護業界に詳しいコーディネーターを中心に、福祉関係の学生有志が動画コンテンツ制作等を体験しながら、将来的に自らが介護の魅力発信等の分野で活躍できる人材になるような仕組みを構築し、介護職員の離職防止、介護人材の確保に繋げる。</p> <p>○取組内容(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信等を行うSNSアカウントを立ち上げ ・アカウント運営に係る知識や技術を学ぶ講習会等の開催 <p>※具体的な内容は実効性等を踏まえ、関係者で協議</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●実施内容等 今年度立上げに向け協議中 KAiGO PRiDEとの連携 教育機関・学生等との連携 	<p>他取組は未集計</p>
	<p>【協議中】</p> <p>新規</p>		

令和5年度の取組状況

資料2

項目	内容等	取組状況	目標・実績	
② 外国人材の受入環境整備	住宅セーフティネット制度の活用に向けた検討、居住支援協議会の運営補助 【実施済】 【取組中】	管理住宅課との連携 ■実施概要 ○目的 山形市住宅確保要配慮者居住支援協議会において外国人等の住宅確保要配慮者に居住支援を行うための課題の共有、協議を行うほか、住宅セーフティネット制度を活用しながら、介護現場への外国人材の確保を促進する。 ○取組内容(予定) ・山形県居住支援協議会との役割分担に向けた協議 ・外国人材をはじめとする住宅確保要配慮者の住まい確保に向けた取組について課題の共有・協議	●実施内容等 ・情報提供 外国人向け防災研修 等 ・関係団体との連携 山形市住宅確保要配慮者居住支援協議会での協議 山形市国際交流センター 山形県外国人介護人材支援センター 等	【目標】 外国人受入事業所数 20事業所 【実績】 未集計
	日本語教育支援、支援団体との連携 【取組中】	■実施概要 ○目的 外国人材の日本語教育や生活支援に係る介護サービス事業所の負担を軽減し、外国人材の資格取得に向けたサポートを行うことで、介護現場への外国人材の確保を促進する。 ○取組内容(予定) ・日本語教室を実施する団体の紹介(山形市国際交流センター、山形市国際交流協会、実施団体等との連携) ・外国人を支援する団体等の情報提供(山形市国際交流センター、山形市国際交流協会、実施団体等との連携) ・令和6年度以降の取組についての協議 ・山形県外国人材支援センター事業の周知	●実施内容等 ・関係団体との連携 山形市国際交流センター 山形県外国人介護人材支援センター 等	
項目	内容等	取組状況	目標・実績	
③ 高齢者の雇用促進	関係団体との連携 【取組中】	■実施概要 ○目的 就労意欲がある高齢者に対して、関係団体と連携し、介護現場への就労を促進する。 ○取組内容(予定) ・介護労働安定センターとの連携 ・介護現場における高齢者の雇用促進のための情報発信	●実施内容等 関係団体実施事業の周知	【目標】 関係団体を通じた介護現場への高齢者の雇用者数 20人
項目	内容等	取組状況	目標・実績	
④ 若年者の雇用促進	学校との連携 【取組中】	■実施概要 ○目的 将来、介護職員としての雇用につなげることを目指し、学校において認知症サポーター養成講座を開催し、児童・生徒が、介護を知り、触れる機会を創出する。 ○取組内容(予定) ・学校での認知症サポーター養成講座の開催	●実施内容等 ・学校での認知症サポーター養成講座の開催啓発 【拡充】 山形市立第七中学校 対象:3年生、PTA、保護者、教員、地域関係者(コミュニティスクール、町内会長など)	【目標】 学校における講座の受講者数 600人
	保護者や教職員の理解促進 【取組中】	■実施概要 ○目的 介護の職業体験や学校での認知症サポーター養成講座の開催を通して、保護者や教職員の理解促進を図る。 ○取組内容(予定) ・学校での認知症サポーター養成講座の開催 ・介護の職業体験イベント(再掲)	●実施内容等 ・Kaigoのおしごとひろば開催 ・学校での認知症サポーター養成講座 【拡充】 山形市立第七中学校 対象:3年生、PTA、保護者、教員、地域関係者(コミュニティスクール、町内会長など)	

令和5年度の取組状況

資料2

項目	内容等	取組状況	目標・実績	
⑤ 潜在介護福祉士等の復職支援	<p>山形県福祉人材センターとの連携</p> <p>【実施済】</p> <p>【取組中】</p>	<p>■実施概要</p> <p>○目的 介護の有資格者届出制度を周知する。また、登録者に対して、介護に関する情報発信を行い、復職を促進する。</p> <p>○取組内容(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護の有資格者届出制度の周知(山形市→事業所) ※市窓口やイベント等 KAiGO PRiDEの取組の情報提供(山形県福祉人材センター→登録者) 山形市が進める介護現場革新事業の情報提供(山形県福祉人材センター→登録者) 介護の職業体験イベント等での連携 	<p>●実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> KAiGOのおしごとひろばでの情報発信 就業相談コーナーの設置 市窓口やイベント等での周知 	<p>【目標】</p> <p>介護職の届出制度登録者数</p> <p>90人/年</p> <p>【実績】</p> <p>未集計</p>
	<p>復職支援に向けた技術研修の実施</p> <p>【取組中】</p>	<p>山形県福祉人材センター及び介護サービス事業者団体との連携</p> <p>■実施概要</p> <p>○目的 復職希望がある登録者等の介護の仕事への不安を解消し、復職を促進するため、県社会福祉協議会や介護サービス事業者団体と連携し、復職希望のある有資格者に対しセミナーや研修等を開催する。</p> <p>○取組内容(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護の仕事の基本等に関するセミナーや研修等の開催 ※小規模法人のネットワーク化による協働推進事業において、介護技術の復習支援を行う。 	<p>●実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 県社会福祉協議会や介護サービス事業者団体と連携し、必要に応じて対応する 	
項目	内容等	取組状況	目標・実績	
⑥ ハラスメント対策	<p>ハラスメント対策研修の実施</p> <p>【実施済】</p> <p>【取組中】</p>	<p>山形県社会福祉協議会及び介護サービス事業者団体との連携</p> <p>■実施概要</p> <p>○目的 介護現場で働く職員の安全を確保し、安心して働き続けられる労働環境を築くことで、介護職員の確保・定着を促進する</p> <p>○取組内容(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ハラスメント対応講座(管理者向け)の開催 9/4開催(山形県社会福祉協議会) ハラスメント対策講座(職員向け)の開催(山形市) ハラスメント対策の実践型グループワーク研修(山形市) ※山形市内の事業所の取組状況を踏まえ、スキルアップしながら対策の向上が図れるよう、多機関で連携し独自の研修プログラムを実施(事業期間は概ね3年間を想定) 	<p>●実施内容</p> <p>ハラスメントアンケート実施に向け、調整中</p>	<p>【目標】</p> <p>受講事業所数</p> <p>30事業所</p> <p>【実績】</p> <p>未集計</p>
	<p>ハラスメント相談担当者スキルアップ研修の実施</p> <p>【協議中】</p> <p>【拡充】</p>	<p>■実施概要</p> <p>○目的 ハラスメント対策と合わせて、ハラスメント相談担当者がハラスメントを受けた職員のケアのスキルを上げていくための研修を実施し、介護職員が安心して働ける環境づくりを行い、職員の定着を図る。</p> <p>○取組内容(予定)</p> <p>ハラスメント相談担当者を対象に、スキルアップ研修を開催する。</p>	<p>●実施内容</p> <p>実施に向け、調整中</p>	

令和5年度の取組状況

資料2

「生産性の向上」の取組				
項目	内容等	取組状況	目標・実績	
① 業務改善、ロボット・ICTの活用	生産性向上改善活動の進展・普及への伴走及び生産性向上コミュニティの立ち上げ 【実施済】 【取組中】 拡充	令和4年度に実施した生産性向上モデル事業において選定されたモデル事業所との連携 ■実施概要 ○目的 生産性向上モデル事業や、フォローアップ研修で培ったノウハウを活かし、山形市内の介護サービス事業者等に対する研修の実施や相談・フォローアップ等を行い、横展開を図る。また、これらの活動を通じて得た事例やノウハウを蓄積し、共有するための仕組みを構築する。 ○取組内容(予定) ・生産性向上コミュニティの立ち上げ ・R4モデル事業所の取組プロセスや成果事例の普及啓発 ・新たに生産性向上改善活動に取り組むインターン事業所への支援	●実施内容等 ・生産性向上モデル事業づくり 8/30セミナー後、集団伴走支援事業所を選定中 ・フォローアップ研修の開催 8/30 16事業所 22名参加 (山形県、介護労働安定センター参加) ・生産性向上コミュニティの立ち上げに先立ち、集団伴走支援相談会と参加者交流会を実施した(8/30)	【目標】 インターン事業所数 2事業所 【実績】 2~3事業所で調整中 【実績】 未集計
	生産性向上改善活動の福祉業界への横展開 【取組中】 拡充	■実施概要 ○目的 福祉業界を対象にモデル事業実践報告会を開催するとともに、介護のほか、障がい者施設や保育所を運営する法人の協力を得ながら、山形市全体の福祉業界の就業環境の改善を図り、就職促進や若者の定着促進につなげていく。 ○取組内容(予定) ・介護事業所及び福祉業界向けのセミナーの開催 ・生産性向上改善活動への経営者理解促進のためのセミナーの開催	●実施内容等 他業界向け生産性向上推進セミナー開催 年度末に、モデル事業実践報告会と合わせて開催予定	【目標】 講座参加者数 50人 【実績】 未集計
	介護ロボット・ICT導入支援 【取組中】	■実施概要 ○目的 生産性向上の取組を通して見直した業務オペレーションに合ったロボット・ICTの導入を支援する。 ○取組内容(予定) ・ロボット・ICT活用に関する事業やイベント等の周知 ・山形県ICT導入支援事業費補助金の周知	●実施内容等 ・情報提供 山形県ICT導入支援事業費補助金の周知	【目標】 介護ロボット・ICT導入法人の割合 50%
項目	内容等	取組状況	目標・実績	
② 文書量削減	申請に係る様式の見直し等による書類の簡素化・標準化 【実施済】	■実施概要 ○目的 人材が不足する中、文書量削減により、介護職員の負担軽減を図る。 ○取組内容(予定) ・電子メールでの一部届出受理 ・電子申請届出システムを利用した電子申請の受付(拡充) R4:更新申請のみ R5:廃止、休止、再開届等に運用を拡大	●実施内容等 電子申請届出システムを利用した電子申請の受付 R5:廃止、休止、再開届等に運用を拡大	【目標】 電子申請受付種類の拡充 【実績】 実施済み
	簡素化・標準化の取組を踏まえたICT等の活用 【実施済】 【取組中】	■実施概要 ○目的 人材が不足する中、ICT等の活用により文書量を削減し、介護職員の負担軽減を図る。 ○取組内容(予定) ・山形県ICT導入支援事業費補助金の周知	●実施内容等 ・山形県ICT導入支援事業費補助金の周知	

令和5年度の取組状況

資料2

項目	内容等	取組状況	目標・実績
<p>③ 事業所間の連携推進</p>	<p>小規模法人のネットワーク化による協働推進事業の実施</p> <p>【取組中】</p> <p>介護サービス事業者団体との連携</p> <p>■実施概要</p> <p>○目的</p> <p>国の小規模法人のネットワーク化による協働推進事業を活用し、経営基盤が脆弱な小規模法人を含めた地域の介護サービス事業所団体が連携し、地域貢献や福祉人材の確保等のための取組が促進されるよう、その環境整備を図る。</p> <p>○事業実施団体の取組内容(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域課題を討議するプラットフォーム会議の開催 ・人材確保の取組(介護の魅力発信や潜在介護福祉士等の復職支援等) ・災害時の連携強化のための取組 ・生産性向上に関する取組 <ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献に向けた、先進的な福祉活動に関する研修会の実施 ・介護人材の確保、定着に向けたコマーシャル等の制作等 	<p>●実施内容等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施に向け準備中 	<p>【目標】</p> <p>事業実施団体数</p> <p>2団体</p>

中学生・高校生のみなさん KAiGOの世界をのぞいてみませんか？

福祉の魅力発信ニュースレター 特別号 | 2023年6月

KAiGOの おしごとひろば

介護の体験イベント

令和5年6月24日（土）
霞城セントラル 1階 アトリウム

共催 山形市
山形市特定施設連絡協議会
山形市内特別養護老人ホーム施設長連絡会
一般社団法人KAiGOPRiDE
山形県社会福祉協議会 山形県福祉人材センター

高齢期疑似体験システム（用具）を装着した歩行体験。
”介助される側”を理解することは、
介護を知るうえで、大切な第一歩なの
かもしれません。



KAiGOの魅力発信プロジェクト

中高生に介護の魅力を伝える体験会が開催されました。



中高生をメインターゲットにした本イベントは、昨年度に引き続き2回目の開催。霞城セントラルの1階アトリウムには、車いすや福祉用具を使った体験コーナーのほか、学校紹介や職業相談のブース、介護現場の職員をモデルにした写真の展示スペースが設けられました。

来場者は300名を超え、体験コーナーや各ブースの利用者は30名をカウントしました。

介護体験コーナーでは、車いすを使った介助を体験できたり、高齢による不自由な動作をシミュレーションできる用具が数多く準備され、「福祉用具専門相談員」が用具の装着や、体験者の歩行に付き添っていました。

介護福祉士や生活相談員、理学療法士など、数多くの職種の皆さんがイベントスタッフとして参加していました。介護の現場が多くの職種で成り立っていることを知るだけでも、貴重な体験となったのではないのでしょうか。

福祉の仕事を見つけよう！
山形県福祉人材センター特設サイト





若年期にどんな職業に出会うか？

将来の就業につながる”きっかけ作り”が盛んに行われています。

「山形県は、三世代同居率が高いといふものの、核家族化は確実に進んでおり、「介護を知らない子供たち」が増えているのではないのでしょうか？」

主催者である山形市福祉推進部長寿支援課の長瀬課長補佐からは、中高生をメインターゲットにした理由や、介護業界における「人材確保」の現状、それらの課題解決に向けた山形市の取り組みなど、貴重なお話をたくさん聞くことができました。

「“人材確保”は、介護業界に限ったことではありませんが、就業のきっかけにつながる本日のような取組みを継続し、工夫していくことが大切だと考えています。」

(長瀬課長補佐)

子供たちやその家族を対象とした職業体験の施設やイベントが、全国各地で大きな人気を集めています。

制服がカッコいい、ゲーム感覚で楽しめる、プレゼントがもらえる…。多種多様の業界がさまざまな工夫を凝らし、将来の担い手獲得に向けて奮闘しています。

「業界独自の魅力をどのように発信していくか？」

少子高齢化プラス人口減少に直面する地方において、人材確保は、より一層大きな社会課題となっています。

本日のようなイベントがきっかけとなり、介護職を志す学生たちが増えることを期待せずにはられません。



「中高生に介護の魅力を伝えるイベント」と題して、TUYニュースサイトやYAHOOニュースに取り上げられました。メディアからの注目も高く、「担い手不足・人材確保」が社会全体の大きな課題であることを改めて考えさせられました。

山形市 中高生に介護の魅力を伝えるイベント
TUYニュースサイト



「KAiGOのおしごとひろば」参加者アンケート集計結果

集計日：2023年6月24日

来場者数：350人

回答者数：9人

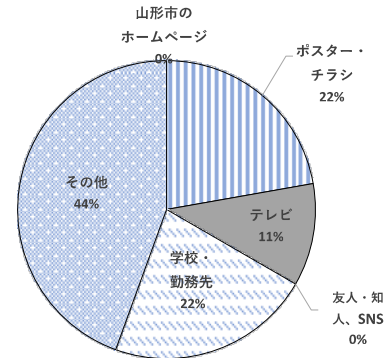
介護体験者数：30人

1. 本イベントの開催を何で知りましたか？

当てはまるものすべてを選択してください。（複数回答可）

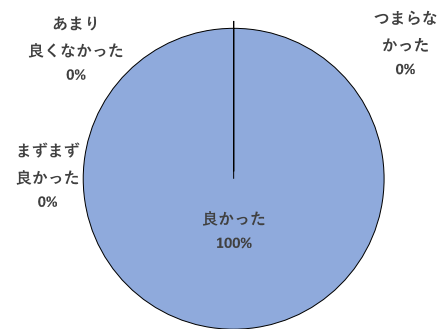
回答	山形市のホームページ	ポスター・チラシ	テレビ	SNS	友人・知人	学校・勤務先	その他	(計)
回答数	0	2	1	0	0	2	4	9
%	0%	22%	11%	0%	0%	22%	44%	100%

・通りすぎり 2件
・偶然通りかかった
・会場で



2. 本イベントはいかがでしたか？当てはまるもの一つを選択してください。

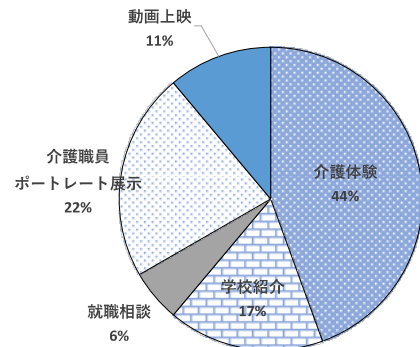
回答	良かった	まずまず良かった	あまり良くなかった	つまらなかった	(計)
回答数	9	0	0	0	9
%	100%	0%	0%	0%	100%



3. 本イベントで良かったブース（コンテンツ）は何ですか？

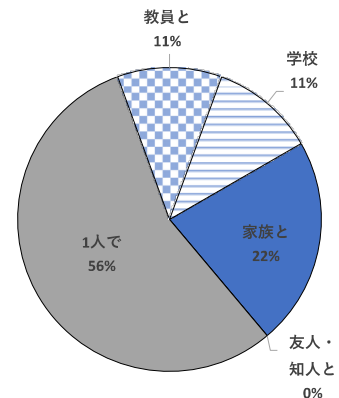
当てはまるものすべてを選択してください。（複数回答可）

回答	介護体験	学校紹介	就職相談	介護職員ポर्टレート展示	動画上映	(計)
回答数	8	3	1	4	2	18
%	44%	17%	6%	22%	11%	100%



4. 本イベントにはどなたと来ましたか？当てはまるものすべてを選択してください。

回答	家族と	友人・知人と	1人で	教員と	学校	(計)
回答数	2	0	5	1	1	9
%	22%	0%	56%	11%	11%	100%



5. ご意見

・とても良い経験をさせていただきました。来年も楽しみにしています。

・楽しかったです。

・わかりやすく丁寧に教えてくださって助かりました。

特に高齢者は歩くだけでもこんなにも負担がかかるのかと驚きました。介護する立場になったら、アドバイスいただいたように専門の方と相談し、一人で抱え込まないようにしたいと思います。

・歩行介助を体験しました。横断歩道くらいの長さの道でしたが、どこまで歩けば終わるのかと不安になるほど距離が長く感じました。

歩幅も小さくなり、バランスもとりにくい中で歩く大変さを知りました。

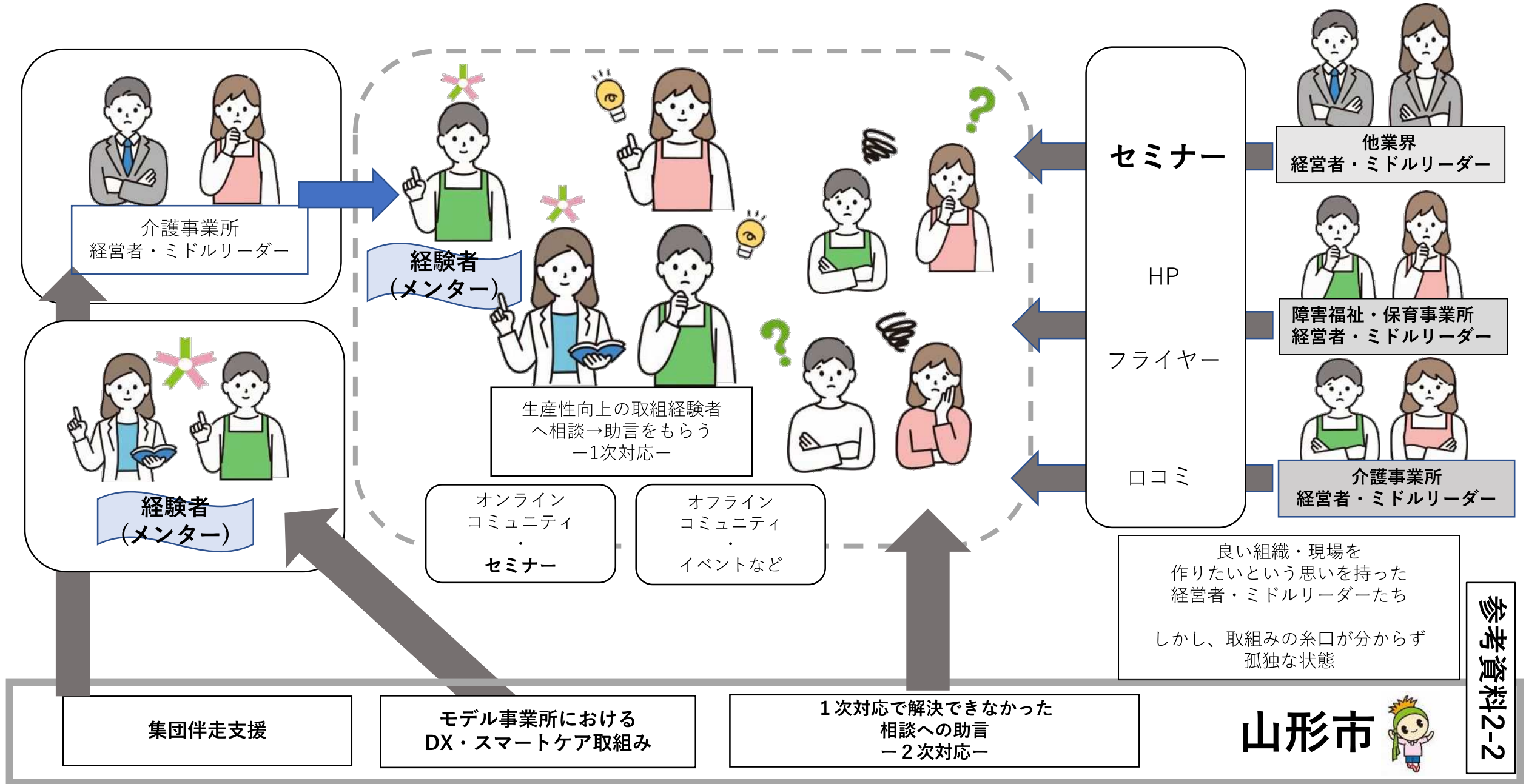
・将来介護士が不足することをこのイベントで知りました。プロの介護士さん指導で季節の体験もできたようで、時間があれば体験したかったです。

このイベントを通して、色々な人が介護士不足の現状を身近に感じてくれたらと思うので、来年も開催してほしいです。

・車椅子のたたみ方を教えてもらった。

「介護の現場」 魅力・活力くるりんプロジェクトコミュニティ（生産性向上コミュニティ）

参考資料2-2



外国出身のみなさまへ

外国人が働く企業の皆さまも、
ぜひご参加ください。

やってみよう !!



外国人向け防災体験



しょうかたいけん
①消火体験

じしんたいけん
②地震体験

けむりたいけん
③煙体験

ばんつうほうたいけん
④119番通報体験



(進行状況により体験が4項目から3項目になる場合があります。)

日時： 2023年9月28日(木) 13:00~14:30

定員： 先着20名

会場： 山形市市民防災センター(山形市西崎9-1)

※駐車場があります。バスをご利用の際は下記時刻表をご覧ください。

お申込み： ① Google フォーム ※右の二次元コードから申し込んでください。

② FAX 023-646-8860 ※下記申込書に記入し送ってください。(添書不要)

主催： (公財) 山形県国際交流協会 URL: <https://www.airyamagata.org/>

お問い合わせ： 電話：023-647-2560 E-mail: info@airyamagata.org

共催： 山形市



山交バス

行き先 山辺駅前
行き： 山形駅西口 12:17 発
 二中前 12:23 着 降車
 二中前から会場まで徒歩約15分

行き先 山形市役所前
帰り： 二中前 14:52 発
 山形駅西口 15:00 着

ベニちゃんバス

西くるりん上町先回りコース
行き： 山形駅前(東口) 11:53 発
 城西五丁目 12:09 着 降車
 城西五丁目から会場まで徒歩約20分

西くるりん上町先回りコース
帰り： 城西五丁目 15:09 発
 山形駅前(東口) 15:21 着

申込書

会社名：		担当者名：	
住所：		TEL：	
	参加者名	国	住んでいる地区(例：山形市〇〇町 など)
1			
2			
3			
4			

令和6年度の取組(案)

資料3

介護人材の確保につながる場の創出

項目	内容等	目標・実績
① 介護の職業体験イベント	<p>中・高校生を中心に、介護に触れ合う機会を創出</p> <p>介護サービス事業者団体、学校関係者等との連携</p> <p>■実施概要</p> <p>○目的 将来、介護職員としての雇用につなげることを目指し、中・高校生を主な対象として、介護の仕事の模擬体験やKAiGO PRiDEによる魅力発信を通して、介護の仕事を正しく理解してもらう。</p> <p>○事業内容(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護の仕事体験 車椅子の移動介助、歩行介助体験など ・KAiGO PRiDE動画上映 ・介護職員ポートレート展示会 ・介護職養成校の紹介 ・就職相談 <p>※具体的な事業内容については、今後関係者で協議</p>	<p>【目標】 参加者数 300人</p>

「介護人材の確保・定着」の取組

項目	内容等	目標・実績
① 介護の魅力発信	<p>KAiGO PRiDEの実施</p> <p>介護サービス事業者団体との連携</p> <p>■実施概要</p> <p>○目的 クリエイティブの力で介護をブランディングする「KAiGO PRiDE」の取組を通し、TVやSNS等のメディアを活用して、広く介護の魅力を発信する。</p> <p>○取組内容(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山形市内の介護職員による動画制作、テレビCM放送、YouTube配信 ・学生による動画制作、YouTube配信 ・介護職員ポートレート展示会 	
介護の魅力発信フェスティバルの開催	<p>介護サービス事業者団体との連携</p> <p>■実施概要</p> <p>○目的 フェスティバルの開催を通して、介護職員、一般市民、学生等に広く介護の魅力を発信する。</p> <p>○取組内容(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会やプレゼン大会等を実施 ・他イベントとの合同開催も含めて検討 	<p>【目標】 参加者数 150人</p>
介護魅力発信事業費補助 (Yamagata KAiGO-LiNK構築事業)	<p>教育機関・学生等との連携</p> <p>■実施概要</p> <p>○目的 情報発信や介護業界に詳しいコーディネーターを中心に、福祉関係の学生有志が動画コンテンツ制作等を体験しながら、将来的に自らが介護の魅力発信等の分野で活躍できる人材になるような仕組みを構築し、介護職員の離職防止、介護人材の確保に繋げる。</p> <p>○取組内容(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信等を行うSNSアカウントを立ち上げ ・アカウント運営に係る知識や技術を学ぶ講習会等の開催 ・介護施設・教育機関等との連携を盤石なものとする <p>※R7年度自走に向け補助は縮小する</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">自走へ向けた取組支援</p>

令和6年度の取組(案)

資料3

項目	内容等	目標・実績
② 外国人材の受入環境整備	住宅セーフティネット制度の活用に向けた検討、居住支援協議会の運営補助 管理住宅課との連携 ■実施概要 ○目的 山形市住宅確保要配慮者居住支援協議会において外国人等の住宅確保要配慮者に居住支援を行うための課題の共有、協議を行うほか、住宅セーフティネット制度を活用しながら、介護現場への外国人材の確保を促進する。 ○取組内容(予定) ・居住支援法人設立等の具体的取り組みの支援 ・外国人材をはじめとする住宅確保要配慮者の住まい確保に向けた取組について課題の共有・協議 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 具体的取組支援 </div>	【目標】 外国人受入事業所数 20事業所
	日本語教育支援、支援団体との連携 ■実施概要 ○目的 外国人材の日本語教育や生活支援に係る介護サービス事業所の負担を軽減し、外国人材の資格取得に向けたサポートを行うことで、介護現場への外国人材の確保を促進する。 ○取組内容(予定) ・日本語教室を実施する団体の紹介(山形市国際交流センター、山形市国際交流協会、実施団体等との連携) ・外国人を支援する団体等の情報提供(山形市国際交流センター、山形市国際交流協会、実施団体等との連携) ・令和6年度以降の取組についての協議 ・山形県外国人材支援センター事業の周知	
項目	内容等	目標・実績
③ 高齢者の雇用促進	■実施概要 ○目的 就労意欲がある高齢者に対して、関係団体と連携し、介護現場への就労を促進する。 ○取組内容(予定) ・シルバー人材センターや介護労働安定センターとの連携 ・介護現場における高齢者の雇用促進のための情報発信	【目標】 関係団体を通じた介護現場へ的高齢者の雇用者数 20人
項目	内容等	目標・実績
④ 若年者の雇用促進	学校との連携 ■実施概要 ○目的 将来、介護職員としての雇用につなげることを目指し、学校において認知症サポーター養成講座を開催し、児童・生徒が、介護を知り、触れる機会を創出する。 ○取組内容(予定) ・学校での認知症サポーター養成講座の開催	【目標】 学校における講座の受講者数 600人
	保護者や教職員の理解促進 ■実施概要 ○目的 介護の職業体験や学校での認知症サポーター養成講座の開催を通して、保護者や教職員の理解促進を図る。 ○取組内容(予定) ・学校での認知症サポーター養成講座の開催 ・介護の職業体験イベント(再掲)	

令和6年度の取組(案)

資料3

項目	内容等	目標・実績
⑤ 潜在介護福祉士等の復職支援	<p>山形県福祉人材センターとの連携</p> <p>■実施概要</p> <p>○目的 介護の有資格者届出制度を周知する。また、登録者に対して、介護に関する情報発信を行い、復職を促進する。</p> <p>○取組内容(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護の有資格者届出制度の周知(山形市→事業所)※市窓口やイベント等 ・KAIGO PRiDEの取組の情報提供(山形県福祉人材センター→登録者) ・山形市が進める介護現場革新事業の情報提供(山形県福祉人材センター→登録者) ・介護の職業体験イベント等での連携 	<p>【目標】 介護職の届出制度登録者数</p> <p>90人/年</p>
	<p>復職支援に向けた技術研修の実施</p> <p>山形県福祉人材センター及び介護サービス事業者団体との連携</p> <p>■実施概要</p> <p>○目的 復職希望がある登録者等の介護の仕事への不安を解消し、復職を促進するため、県社会福祉協議会や介護サービス事業者団体と連携し、復職希望のある有資格者に対しセミナーや研修等を開催する。</p> <p>○取組内容(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護の仕事の基本等に関するセミナーや研修等の開催 <p>※山形市は団体に対して支援を実施(補助事業)</p>	
項目	内容等	目標・実績
⑥ ハラスメント対策	<p>山形県社会福祉協議会及び介護サービス事業者団体との連携</p> <p>■実施概要</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">ハラスメント対策の一連の取組を山形モデルとして発信</div> <p>○目的 介護現場で働く職員の安全を確保し、安心して働き続けられる労働環境を築くことで、介護職員の確保・定着を促進する。</p> <p>○取組内容(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハラスメント対応講座(管理者向け)の開催(山形県社会福祉協議会) ・ハラスメント対策講座(職員向け)の開催 ・ハラスメント対策の実践型グループワーク研修(山形市) <p>※山形市内の事業所の取組状況を踏まえ、スキルアップしながら対策の向上が図れるよう、多機関で連携し独自の研修プログラムを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マニュアル作成や好事例集の作成等とおしたハラスメント対策の周知(事業期間は概ね3年間を想定) 	<p>【目標】 受講事業所数</p> <p>30事業所</p>
	<p>ハラスメント相談担当者スキルアップ研修の実施</p> <p>■実施概要</p> <p>○目的 ハラスメント対策と合わせて、ハラスメント相談担当者がハラスメントを受けた職員のケアのスキルを上げていくための研修を実施し、介護職員が安心して働ける環境づくりを行い、職員の定着を図る。</p> <p>○取組内容(予定) ハラスメント相談担当者を対象に、スキルアップ研修を開催する。</p>	

令和6年度の取組(案)

資料3

「生産性の向上」の取組			
項目	内容等	目標・実績	
① 業務改善、ロボット・ICTの活用	<p>生産性向上改善活動の進展・普及への伴走及び生産性向上コミュニティを活用した横展開</p> <p>拡充</p>	<p>令和4、5年度に実施した生産性向上モデル事業において選定されたモデル事業所との連携</p> <p>■実施概要 生産性向上コミュニティを活用した横展開</p> <p>○目的 生産性向上モデル事業や、フォローアップ研修で培ったノウハウを活かし、山形市内の介護サービス事業者等に対する研修の実施や相談・フォローアップ等を行い、他業界も含めた横展開を図る。令和4、5年度のモデル事業所とは引き続き連携し、活動定着支援を行う。</p> <p>○取組内容(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> モデル事業所の取組プロセスや成果事例の普及啓発 令和5年度に構築した生産性向上コミュニティの活用による横展開 新たに生産性向上改善活動に取り組むインターン事業所への支援 	【目標】
	<p>生産性向上改善活動の他業界への横展開</p> <p>拡充</p>	<p>■実施概要</p> <p>○目的 福祉業界を対象にアドバイザーによる生産性向上に関する発表会を開催するとともに、介護のほか障がいや保育を運営する法人の協力を得ながら、山形市全体の福祉業界や他業界の就業環境の改善を図り、就職促進や若者の定着促進につなげていく。</p> <p>他業界への伴走支援（モデル事業の横展開）</p> <p>○取組内容(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護事業所及び福祉業界向けのセミナーの開催 生産性向上改善活動への経営者理解促進のためのセミナーの開催 他業界への伴走支援(モデル事業の横展開) 	【目標】 講座参加者数 50人
	<p>介護ロボット・ICT導入支援</p>	<p>■実施概要</p> <p>○目的 生産性向上の取組を通して見直した業務オペレーションに合ったロボット・ICTの導入を支援する。</p> <p>○取組内容(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ロボット・ICT活用に関する事業やイベント等の周知 山形県ICT導入支援事業費補助金の周知 	【目標】 介護ロボット・ICT導入法人の割合 50%
項目	内容等	目標・実績	
② 文書量削減	<p>申請に係る様式の見直し等による書類の簡素化・標準化</p>	<p>■実施概要</p> <p>○目的 人材が不足する中、文書量削減により、介護職員の負担軽減を図る。</p> <p>○取組内容(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子メールでの一部届出受理 電子申請届出システムを利用した電子申請の受付(拡充) R4:更新申請のみ R5:廃止、休止、再開届等に運用を拡大 R6:変更届、加算に関する届等に運用を拡大 	【目標】 電子申請受付種類の拡充
	<p>簡素化・標準化の取組を踏まえたICT等の活用</p>	<p>■実施概要</p> <p>○目的 人材が不足する中、ICT等の活用により文書量を削減し、介護職員の負担軽減を図る。</p> <p>○取組内容(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> 山形県ICT導入支援事業費補助金の周知 	

令和6年度の取組(案)

資料3

項目	内容等	目標・実績
<p>③ 事業所間の連携推進</p>	<p>介護サービス事業者団体との連携</p> <p>■実施概要</p> <p>○目的</p> <p>国の小規模法人のネットワーク化による協働推進事業を活用し、経営基盤が脆弱な小規模法人を含めた地域の介護サービス事業所団体が連携し、地域貢献や福祉人材の確保等のための取組が促進されるよう、その環境整備を図る。</p> <p>○事業実施団体の取組内容(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域課題を討議するプラットフォーム会議の開催 ・人材確保の取組(介護の魅力発信や潜在介護福祉士等の復職支援等) ・災害時の連携強化のための取組 ・生産性向上に関する取組 <ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献に向けた、先進的な福祉活動に関する研修会の実施 ・介護人材の確保、定着に向けた取組 	<p>【目標】</p> <p>事業実施団体数</p> <p>2団体</p>

介護現場の革新に向けた総合的な取組（令和3年度～令和7年度）

令和6年度(案)

参考資料3-1

(令和5年9月28日)
令和5年度 第1回山形市
介護人材確保推進協議会

ビジョン（大目標、中目標）

大目標：介護職に魅力が感じられ、職員が誇りを持って仕事ができる環境をつくる

中目標：1. 介護人材一人一人が、誇りを持てるクリエイティブな仕事だと思えている

2. 働きやすい環境で、多様な介護人材がそれぞれの立場・役割を持ち「チームケア」が実践されている

指標 山形市で毎年約320人の介護職員等を新たに確保する（2025年までに、約1,600人を確保する必要がある。）

ビジョン達成のための具体的な取組（小目標）

※ 国の制度見直しや山形市の取組状況等を踏まえて適宜見直しを行う。

介護人材の確保につながる場の創出	介護現場革新事業 で実施する項目	事業スケジュール	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	令和6年度の目標	活用できる制度等
介護の職業体験イベント	中・高校生を中心に、Kaigo PRIDEによる魅力発信と介護の仕事の模擬体験を通して、介護に触れ合う機会を創出する。							参加者数：300人 (R4年度実績：250人)	○小規模法人のネットワーク化による協働推進事業(社会・援護局)
「介護人材の確保・定着」の取組		事業スケジュール	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	令和6年度の目標	活用できる制度等
介護の魅力発信	「Kaigo PRIDE」の実施（動画制作、ポートレート展示会） 「介護の魅力発信フェスティバル」の開催 介護魅力発信事業費補助金（Yamagata Kaigo LINK構築事業）							参加者数：150人 (R4年度実績：66人)	○小規模法人のネットワーク化による協働推進事業(社会・援護局)
外国人材の受入環境整備	日本語教育支援（日本語教室の案内）、支援団体との連携（外国人を支援する団体等の情報提供） 住宅セーフティネット制度の活用に向けた検討 居住支援協議会設立・運営							外国人受入数：20事業所 (R4年度実績：16事業所)	○外国人介護人材受入れ施設等環境整備事業(地域医療介護総合確保基金) ○外国人介護人材受入支援事業(社会・援護局) ○住宅セーフティネット制度(国交省) ○外国人介護職員の雇用に関する介護事業者向けガイドブック 等
高齢者の雇用促進	シルバー人材センターや介護労働安定センターとの連携							関係団体を通じた高齢者の雇用者数：20人 (R4年度実績：13人)	○多様な人材層(若者・女性・高齢者)の参入促進事業(地域医療介護総合確保基金) ○介護に関する入門的研修、生活援助従事者研修の受講支援事業(地域医療介護総合確保基金) 等
若年者の雇用促進	学校との連携（認知症サポーター養成講座等による周知啓発） 保護者や教職員の理解促進（体験イベントを通じた理解促進）							学校における講座の受講者数：600人 (R4年度実績：434人)	○介護事業所でのインターンシップ・職場体験の導入促進(地域医療介護総合確保基金) ○介護分野への就職に向けた支援金貸付事業(地域医療介護総合確保基金) ○小規模法人のネットワーク化による協働推進事業(社会・援護局) 等
潜在介護福祉士等の復職支援	山形県福祉人材センターとの連携（復職支援に向けた情報提供） 復職支援に向けた研修の開催							届出制度登録者数：90人 (R4年度実績：84人)	○潜在介護福祉士の再就業促進事業(地域医療介護総合確保基金) ○小規模法人のネットワーク化による協働推進事業(社会・援護局) 等
ハラスメント対策	ハラスメント研修（管理者向け、職員向け）、グループワーク研修 ハラスメント相談担当者スキルアップ研修の実施							ハラスメント対策研修 受講事業所数：30事業所 (R4年度実績：34人)	○介護事業所におけるハラスメント対策推進事業(地域医療介護総合確保基金) ○小規模法人のネットワーク化による協働推進事業(社会・援護局) ○介護現場におけるハラスメント対策マニュアル、研修の手引き・動画(老健局) 等
「生産性の向上」の取組		事業スケジュール	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	令和6年度の目標	活用できる制度等
業務改善、ロボット・ICTの活用	生産性向上改善活動の総合支援窓口の立ち上げ、アドバイザーの育成、成功事例の普及啓発 生産性向上改善活動の横展開に向けた介護事業所向けと福祉業界向けセミナーの開催。経営者向けの理解促進セミナーの開催 介護ロボット・ICT導入支援							介護ロボット・ICT導入 法人の割合：50% (R4年度実績：36%)	○介護事業所に対する業務改善支援事業(地域医療介護総合確保基金) ○小規模法人のネットワーク化による協働推進事業(社会・援護局) ○生産性向上ガイドライン(老健局) ○介護ロボット導入支援事業、ICT導入支援事業(地域医療介護総合確保基金)
文書量削減	申請等に係る様式の見直し等による書類の簡素化・標準化 電子メールでの届出の受理 簡素化・標準化の取組を踏まえたICT等の活用							電子申請受付種類の拡充	○国が示す様式例、ガイドライン・ハンドブック(予定)
事業所間の連携推進	小規模法人のネットワーク化による協働推進事業の実施 (社会貢献事業、介護人材確保、防災等)							事業実施団体：2団体	○小規模法人のネットワーク化による協働推進事業(社会・援護局)

参考資料3-1

山形市高齢者保健福祉計画（第9期介護保険事業計画）施策の展開（案）

I 地域包括ケアシステムの確立

参考資料3-2

介護人材確保定着に向けた総合的取組の推進

(1) 介護人材の確保と資質の向上

- 介護の魅力発信（YAMAGATA KAIGO-Link事業の実施）
- 外国人材の受入環境整備（日本語教育支援、住宅確保要配慮者居住支援協議会を通じた住まい確保支援の検討）
- ハラスメント対策の推進（研修、相談担当者のスキルアップ支援、好事例の発信等）
- 若年層・高齢者の雇用促進（福祉教育機関との連携、介護の職業体験イベントの実施、シルバー人材センターとの連携等）

(2) 生産性向上による業務効率化・質の向上

- 生産性向上モデル事業所の効果を横展開（モデル事業所の活動定着支援、生産性向上コミュニティによる横展開）
- ICTの活用支援（県事業の活用）
- 文書負担軽減に向けた取組

(3) 多機関連携による推進体制

- 「介護人材確保推進協議会」における協議（多機関連携協働体制の確保、効果的方策の検討）
- 法人のネットワーク化による人材確保等に資する社会貢献事業の推進
- 県事業との連動による効果的な支援

参考資料3-2